



あなぶきエンタープライズ

anabuki



エコアクション21

認証・登録番号 0004815

エコアクション21 環境活動レポート



期間：2013年4月～2014年3月





目 次



1.	環境方針	1
2.	事業内容	2
3.	エコアクション2.1推進体制組織図	7
4.	全社中長期目標	8
5.	今年度の環境目標と活動計画・実績	9
6.	各施設活動報告	16
6-1	サンメッセ香川	17
6-2	アルファあなぶきホール	18
6-3	高松テルサ	19
6-4	クアパーク津田・クアタラソさぬき津田	20
6-5	津田の松原サービスエリア	21
6-6	アルファ津田カントリークラブ	22
6-7	高松国際ホテル	23
6-8	チサン イン高松	24
6-9	ロイヤルパークホテル高松	25
6-10	琴平パークホテル	26
6-11	リーガホテルゼスト高松	27
6-12	旅館くらしき・倉敷珈琲館	28
6-13	あなぶき家庭瀬店	29
6-14	ストアマネジメント課・フーズケア課	30
6-15	管理本部	31
7.	今後のエコ活動計画	32
8.	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	33
9.	代表者による全体評価と見直しについて	34



1.【 環 境 方 針 】

穴吹エンタープライズ株式会社は、地域社会に生かされ生きる企業を目指し、全ての事業活動において環境負荷の削減に努め、持続可能な循環型社会の実現に向けて、社会的責任を果たします。

1. お客様に満足していただける、安全で快適な環境を提供します。

お客様にご利用いただく施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供を推進します。

2. 廃棄物の適正処理と削減に取り組めます。

(1) 3R を推進し、廃棄物の削減をします。

※3R (Reduce:発生抑制・Reuse:再使用・Recycle:再資源化)

(2) 食品リサイクル率の向上・生ごみ廃棄物の発生抑制を推進します。

3. 環境コミュニケーションに取り組めます。

エコ活動レポートを社内外に公表し、社会からの信頼向上に努めます。

4. 法令を遵守します。

環境に関する法規制等を遵守し、環境保全に努めます。

5. 環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

全スタッフへ環境に関しての教育を行い、継続的改善に努めます。

制定日 2011年3月1日

改定日 2012年5月1日

穴吹エンタープライズ株式会社

代表取締役 小島 英夫



2. 事業内容



□ 事業所名及び代表者名

穴吹エンタープライズ株式会社

代表取締役 小 島 英 夫

□ 所在地

本社: 香川県高松市福田町11番地1

□ 環境管理責任者及び環境管理事務局連絡先

・環境管理責任者: 三村 和馬 (指定管理者事業部 事業部長)

電話: 087-825-0556

・事務局連絡先: 稲谷 敏 (施設・購買部 部長)

電話 087-831-1529

□ 事業の規模(全社)

総従業員数 556人(2014年4月末現在)

全社売上高 5,184百万円 (2012年7月～2013年6月)

□ エコアクション21の運用範囲について

当社、穴吹エンタープライズ株式会社は、以下の6つの事業部から構成されております。

NO.	事業部名	施設名	業務内容
1	指定管理者事業部	サンメッセ香川、アルファあなぶきホール、高松テルサ、香川県総合運動公園(2015年取組予定)、マリンウェーブ(2015年取組予定)	指定管理者制度に基づき、地方自治体等により委託された公共施設の管理・運営、イベント運営の総合プロデュースを行う。
2	SA&リゾート事業部	クアパーク津田、クアタラソさぬき津田、津田の松原サービスエリア、アルファ津田カントリークラブ 上板サービスエリア(2015年取組予定)	スポーツ・健康増進施設・サービスエリア・ゴルフ場を運営する。
3	ホテル事業部	高松国際ホテル、チサン イン高松、ロイヤルパークホテル高松、琴平パークホテル、リーガホテルベスト高松	宿泊施設・料飲施設を運営する。
4	管理本部	管理部、施設・購買部	人事や会社の資産等を管理し、各課の運営をサポートする。
5	倉敷事業部	旅館くらしき、倉敷珈琲館	宿泊施設・料飲施設の運営をする。
6	関連事業部	ストアマネジメント課、フーズケア課、あなぶき家	うどんレストラン、物販店舗運営及び通販展開、高齢者用施設への給食提供を行う。

2015年度には、会社全体での取得が完了できる予定です。



◆ 各 施 設 紹 介 ◆

～指定管理者事業部～

● サンメッセ香川

所在地：香川県高松市林町2217-1

施設規模：延床面積 37,426㎡

開業：平成6年（1994年）

（平成17年4月～平成27年3月：香川県の指定管理期間）

香川インテリジェントパーク内にある県内最大の総合コンベンション施設です。大小2つの展示場と、様々な会議室をご用意しております。大規模なイベント、見本市、展示会から少人数の会議、勉強会まで幅広くご利用いただいております。

サンメッセ香川外観



● アルファあなぶきホール（香川県県民ホール）

所在地：香川県高松市玉藻町9-10

施設規模：延床面積 27,820㎡

開業：昭和63年（1988年）

（平成18年4月～平成28年3月：香川県の指定管理期間）

音楽、舞踊、演劇、講演会などあらゆる舞台芸術やイベントに対応できる大小2つのホールと各種練習室、会議室を備えた香川県の舞台芸術の拠点施設。国内外の優れた舞台芸術の公演をはじめ県民の創作活動の発表、練習や全国規模の学会・大会、各種会議などに幅広くご利用いただいております。

アルファあなぶきホール外観



● マリンウェーブ（2015年取組予定）

所在地：香川県三豊市詫間町詫間 1338-127

施設規模：延床面積 6,136㎡

開業：平成12年（2000年）

（平成25年12月～平成30年3月：三豊市の指定管理期間）

「特定非営利活動法人三豊市総合型地域文化・スポーツクラブ」の構成員として運営しております。三豊市文化会館マリンウェーブは、三豊市の文化発信拠点として市民に愛されております。数々の感動的な公演の舞台となってきた「マーガレットホール」をはじめ、多目的にご利用いただける各種スペースをご用意しております。

三豊市文化会館マリンウェーブ外観



● 香川県総合運動公園（2015年取組予定）

所在地：香川県高松市生島町 614 番地

施設規模：野球場2面、サッカーラグビー場2面、テニスコート20面、相撲場3土俵、多目的広場

開業：昭和57年（1982年）より野球場がスタート

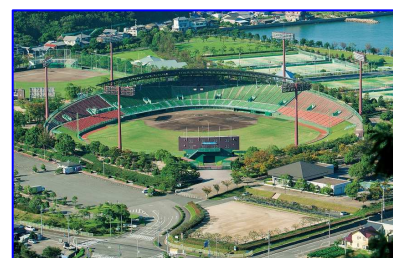
（平成25年4月～平成30年3月：香川県の指定管理期間）

弊社と香川県造園事業協同組合、ミズノによる指定管理共同体により運営されています。

香川県総合運動公園は、高松市生島町の瀬戸内海の波穏やかな生島湾と瀬戸内海国立公園の緑豊かな五色台丘陵に囲まれた海に見える運動公園です。

高松市の西部、生島湾に面した塩田跡地に1979年から香川県により公園整備が開始されました。

香川県総合運動公園外観



● 高松テルサ

所在地：香川県高松市屋島西町 2366-1

施設規模：延床面積 11,467㎡

開業：平成5年（1993年）

（平成21年4月～平成31年3月：高松市の指定管理期間）

会議室、研修室、ホール等を有する多目的施設です。貸し館に加え、宿泊施設やトレーニングジムも併設しております。健康増進・文化教養のための自主企画事業を数多く実施。地域と一体化したテルサ音楽祭、勤労者美術展といったイベントなどにも広くご利用いただいております。

高松テルサ外観



～SA&リゾート事業部～

● クアパーク津田・クアタラソさぬき津田

★クアパーク津田（国民宿舎松琴閣）

所在地：香川県さぬき市津田町松原地内

施設規模：地下1階地上3階建、延床面積 2,422 m²。客室数：26 室

開業：昭和37年（1962年）

（平成8年11月より㈱さぬき市SA公社から委託され弊社が業務開始。）

「津田の松原」の東端に位置し、瀬戸内海を望む砂浜に面した宿泊施設、会議室、研修室、ホール、入浴施設、レストラン等を有する多目的施設です。地域と一体となった運営をし、広くご利用いただいております。

★クアタラソさぬき津田

所在地：香川県さぬき市鶴羽24-2

施設規模：延床面積 1,885 m²

開業：平成5年（1993年）

（平成8年11月より㈱さぬき市SA公社から委託され弊社が業務開始。）

温水プール、入浴施設、トレーニングジムを主体とした健康増進を目的とした地域密着型施設です。隣接のクアパーク津田と、連絡通路で結ばれており、一体的な利用が可能です。

クアパーク津田外観



クアタラソさぬき津田外観



津田の松原SA外観



● 津田の松原サービスエリア

所在地：香川県さぬき市鶴羽 935-5 及び 939-1

施設規模：延床面積 2,248 m²

開業：平成13年（2001年）

（平成13年4月より、㈱さぬき市SA公社から委託され弊社が業務開始）

日本の渚百選瀬戸内海「津田の松原」を眼下に望む『津田の松原SA』内で飲食物の提供と土産物の販売をしています。レストランでのお食事の他、本場讃岐うどん「あなぶき家」、お土産・売店では地域特産品を多数ご用意し、香川県外・県内のお客様のおもてなしをさせていただいております。

● アルファ津田カントリークラブ

所在地：香川県さぬき市寒川町神前 647-16

施設規模：18 ホール・6,262 ヤード・パー72

創業：昭和60年（1985年）9月

開業：平成17年（2005年）10月

瀬戸内 VIEW が眼前に広がる、「津田コース No.1 ホール」からスタート。スポーツとしての純粋なゴルフを楽しめるコースをご用意しております。

アルファ津田カントリークラブ 外観



● 上板サービスエリア（2015年取組予定）

所在地：上り線（徳島・関西方面） 徳島県板野郡上板町神宅字菖蒲谷 72-3

下り線（愛媛・高知方面） 徳島県板野郡上板町神宅字山田 99-16

施設規模：延床面積 1,660 m²（上り下り合計）

開業：平成26年（2014年）2月

（平成14年2月より、西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社から委託され弊社が業務開始）ショッピングコーナーでは、さまざまなお土産をラインナップしています。スナックコーナーでは、ラーメンやうどんなどの麺類をはじめ、各種どんぶりや定食メニューと、種類豊富な品々からお選びいただけます。

上板サービスエリア 外観



豆吉本舗こんびら店 外観



● ストアマネジメント課

「豆吉本舗こんびら店」を始め、津田の松原サービスエリア内に豆菓子専門店を展開するとともに、「あなぶき家」のうどん商品、「あなぶきホテルズ」オリジナル製品の販売を行っています。

～ホテル事業部～

● 高松国際ホテル

所在地：香川県高松市木太町 2191-1

施設規模：地上 5 階建、延床面積 3,340 坪、客室数：101 室

創業：昭和 39 年（1964 年）10 月

開業：平成 13 年（2001 年）5 月

東京オリンピックが開かれた 1964 年（昭和 39 年）に創業した「高松国際ホテル」。以来、皇室をはじめとする多くの賓客をおもてなししてきた伝統と実績。優しく、あたたかなサービスでお客様をお迎えいたします。

高松国際ホテル外観



● チサン イン高松

所在地：香川県高松市福田町 11-1

施設規模：地上 9 階建、延床面積 889 坪、客室数：117 室

開業：昭和 63 年（1988 年）9 月

（平成 22 年 3 月「ロイヤルパークホテル高松アネックス」から「チサン イン高松」としてリニューアルオープン。）

ロープライスと快適性をハイレベルに融合したホテル。高松の繁華街に位置し、充実のアメニティとファシリティ、全室に無料のインターネット回線を完備し、お客様の大切なくつろぎのひと時をご提供いたします。

チサン イン高松 外観



● ロイヤルパークホテル高松

所在地：香川県高松市瓦町 1-13-1

施設規模：地下 1 階地上 9 階建、延床面積 1,396 坪、客室数：50 室

開業：平成元年（1989 年）2 月

繁華街の中心・瓦町に位置するアールデコ調の気品漂う「ロイヤルパークホテル高松」安らぎの睡眠を提供する客室、落ち着いた和の空間で日本料理を提供する座敷割烹『錦』。さまざまなニーズにお応えする宴会場や会議室もご利用いただけます。

ロイヤルパークホテル高松 外観



● 琴平パークホテル

所在地：香川県仲多度郡琴平町榎井 706-7

施設規模：地上 8 階建、延床面積 1,629 坪、客室数：88 室

開業：平成 17 年（2005 年）7 月

こんびらさんの門前町の中で、数少ないビジネスタイプの「琴平パークホテル」。金比羅宮の参拝など観光目的のお客様、出張でお越しになるビジネスマンにとって、お財布にやさしいホテルです。一日の疲れを癒す展望浴場など、様々な寛ぎのおもてなしもご用意しております。

琴平パークホテル 外観



● リーガホテルゼスト高松

所在地：香川県高松市古新町 9-1

施設規模：地下 1 階地上 10 階建、延床面積 3,003 坪、客室数：122 室

創 業：昭和 55 年（1980 年）7 月

開 業：平成 24 年（2012 年）8 月

四国のゲートウェイである高松市の中心市街地に位置し、30 年以上地元の皆様に愛され続ける老舗ホテル。ビジネスや観光、ショッピングなどさまざまな用途にアクセスに至便なホテルです。レストランでは地元農家や漁師から直接仕入れる新鮮な素材を中心に、高松らしい美食をご用意。老舗ならではの伝統と実績、経験に培われたホスピタリティで、お客様をおもてなしいたします。

リーガホテルゼスト高松 外観



～倉敷事業部～

● 旅館 くらしき

所在地：岡山県倉敷市本町 4-1

施設規模：木造 2 階建て

創 業：昭和 32 年（1957 年）

開 業：平成 18 年（2006 年）7 月

倉敷美観地区の中心部に位置し、陽前の庭、伝統建築の静かな佇まいに癒される料理旅館。先代が手塩にかけ、倉敷隋一の伝統と格式を持って育て上げた名宿です。古くは江戸末期に遡る道具蔵などを改装したゲストルーム、宴会用お座敷、レストランを併設し、国内外のお客様をお迎えしています。

旅館くらしき 外観



● 倉敷珈琲館

所在地：岡山県倉敷市本町 4-1

施設規模：木造 2 階建 30 席

創業：昭和 46 年（1971 年）4 月

開業：平成 18 年（2006 年）7 月

白壁の町、倉敷美観地区の一角にある焙煎珈琲（コーヒー）専門店です。1971 年の開店より、厳選して仕入れた豆をひとつひとつさらに選り分け、培った焙煎技術とネルドリップをかたくなに守り、ひたすら美味しいコーヒーを求めつづけてまいります。

倉敷珈琲館外観



～関連事業部～

● フーズケア課

サービス付き高齢者用住宅、住宅型有料老人ホームへの食事供給業務を受託し、安全安心な食生活の提供をさせていただいております。

あなぶき家庭瀬店 外観

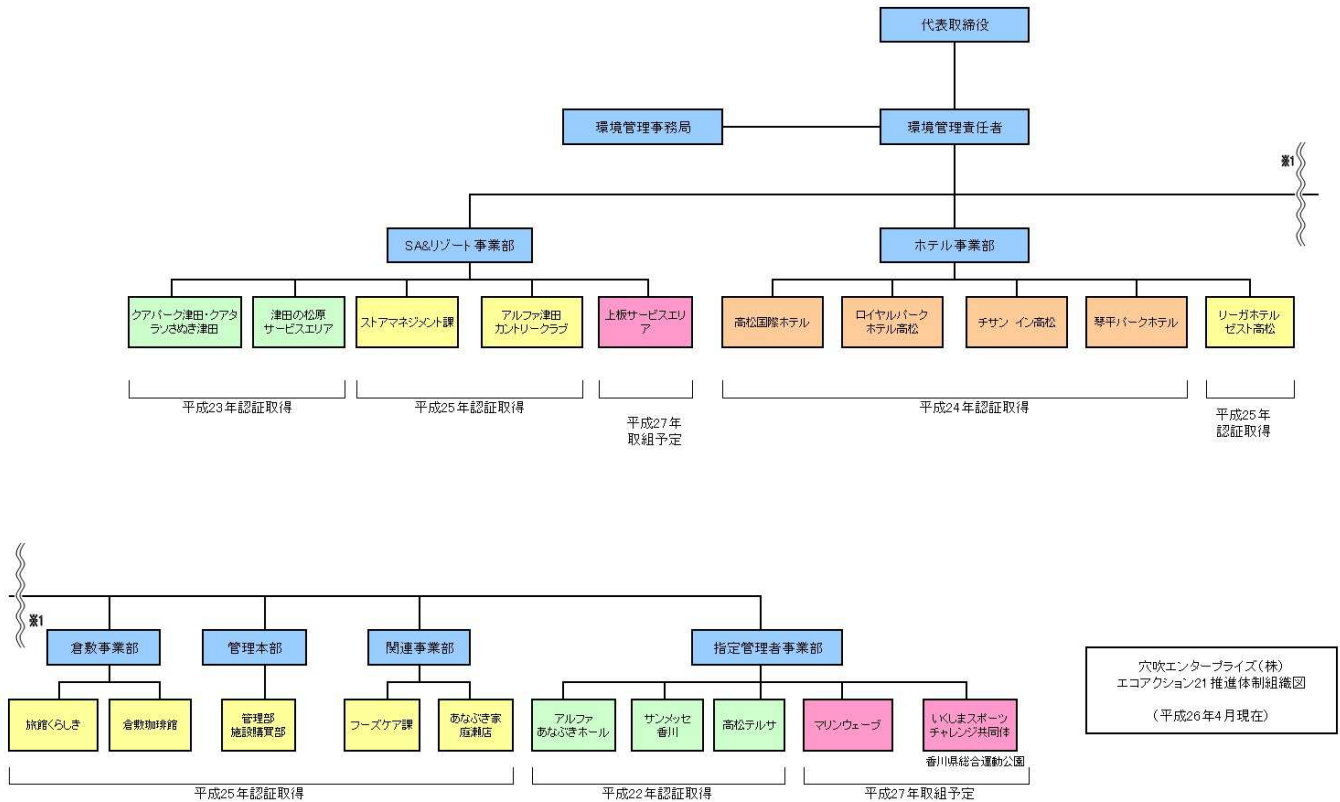
● あなぶき家庭瀬店

津田の松原サービスエリア内で運営するセルフうどん店「あなぶき家」の郊外型店舗一号店として、岡山市庭瀬にて本場のさぬきうどんを提供させていただいております。





3. エコアクション21推進体制組織図





4. 全社中長期目標

◆ 全社中長期目標 ◆

平成23年度を基準年度とした3ヵ年計画を下表の通り設定いたしました。※平成25年度の実績を基に見直し致しました。

環境目標項目		平成 23 年度実績 (基準年度)	平成 24 年度 目標値	平成 25 年度 目標値	平成26年度 目標値
目 標 値			基準年度比 1.5 % 減	基準年度比 3.0 % 減	※平成26年5月 見直し数値
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減	CO ₂ 排出量	2.628 (kg-CO ₂)/人	2.589 (kg-CO ₂)/人	2.550 (kg-CO ₂)/人	※2.447 (kg-CO ₂)/人
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般事業系)	廃棄物排出量	46.7 (g/人)	45.6(g/人)	45.3(g/人)	44.6(g/人)
	発生量	69.9 (g/人)	-	-	-
	リサイクル量	23.21 (g/人)	-	-	-
	リサイクル率	33.21%	34.71(%)	36.21(%)	37.71(%)
3.食品リサイクル率の向上	発生量	34.09 (g/人)	-	-	-
	リサイクル量	14.43 (g/人)	-	-	-
	リサイクル率	42.31%	44.31%	46.31%	※65.72%
4.節水による総排水量削減	排水量(m ³)	61.522(L/人)	60.599(L/人)	59.677(L/人)	※55.263 (L/人)
5.グリーン購入の実施	LED 電球の使用	白熱灯電球更新時の LED 使用率 80%以上			
	文房具	全購入品目において、エコマーク製品購入割合 75%以上			
	設備機器・厨房機器等	更新時の高効率機器の採用 100%			
6.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上	合格者数(延)	平成 23 年度末	平成 24 年度末	平成 25 年度末	平成 26 年度末
		48 名	75 名	100 名	※150 名
7.上記項目の全スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示等による啓発活動の実施。 お客様への掲示物等による活動への理解促進・ご協力要請の実施。				

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407 kg-CO₂/kWh(四国電力)

※1.CO₂排出量、3.食品リサイクル率、4.排水量削減、6.エコ検定合格者(延人数)が、平成25年度でほぼ目標達成となったため平成26年度の目標を見直ししました。

■ 全社中長期目標の達成に向けて、展開する主要な活動内容は、以下の通りです。

各施設において具体的活動計画を策定し、『環境目標の達成に向けて全力を挙げて取り組みます。』

環境目標	活動計画(実施項目)
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減	① 省エネルギー対策の推進 ② 高効率機器等への更新の促進
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	① 3R(発生抑制、再使用、再資源化)を推進
3.食品リサイクル率の向上	① 食品廃棄物の発生抑制、減量化の推進 ② 食品廃棄物の分別を徹底し、再生利用の推進
4.節水による総排水量削減	① 適正水量調整による使用水量の削減 ② 水使用場所での節水の呼び掛け徹底
5.グリーン購入の実施	① エコマーク製品の購入量の拡大
6.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上	① 全スタッフのエコ意識を高めるため、計画的に受検を奨励し、意識向上を図ります。
7.上記項目の全スタッフ・お客様への啓発	① 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示等による啓発活動の実施 ② お客様への掲示物等による活動への理解促進・ご協力要請の実施



5.今年度の環境目標と活動計画・実績



● 全社実績集計 ●

◆ 事業部活動実績と評価 ◆

穴吹エンタープライズ(株) 全 社 集 計									
環境目標項目	実績評価 (原単位:利用者人数1人当り)					昨年度との実績比較			
	①目標値	②実績値	③.評価 (②-①)	項 目	単位	2012年実績 (A)	2013年実績 (B)	対前年度増減 (B)-(A)	
				利用者人数	人	3,423,545	3,397,748	(25,797)	
①省エネルギー化 推進による CO2排 出量削減	2.55	2.484	clear! (0.066)	使用 実績 内訳	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	8,573,143	8,441,531	clear! (131,612)
					電気	kwh	14,532,230	14,182,996	clear! (349,234)
					灯油	ℓ	1,554	1,502	clear! (52)
					A重油	ℓ	36,824	38,554	1,730
					都市ガス	Nm3	772,091	753,122	clear! (18,969)
					プロパンガス	kg	223,118	244,840	21,722
					ガソリン	ℓ	34,212	30,428	clear! (3,784.0)
					軽油	ℓ	13,267	10,619	clear! (2,648.0)
	(kg-CO2)/利用者数								
②廃棄物排出量 削減	45.3	49.1	3.8	廃棄物 量内 訳	廃棄物排出量 (a)-(b)	t	163.216	166.972	3.756
					廃棄物発生量 (a)	t	242.013	267.663	25.650
					リサイクル量 (b)	t	78.797	100.691	21.894
					リサイクル率 (b)÷(a)	%	32.56%	37.62%	clear! 5.06%
③食品リサイクル 率の向上	46.31%	65.10%	(達成率) 140.58%	食品廃棄物発生量 (c)	t	167.881	167.714	(0.167)	
				食品リサイクル量 (d)	t	55.610	109.185	53.575	
				リサイクル率 (d)÷(c)	t	33.12%	65.10%	clear! 31.98%	
④節水による総排 水量削減	59.677	56.105	clear! (3.572)	総排水量	m ³	206,499	190,630	clear! (15869.0)	
	L /利用者人数								
⑤グリーン購入の 推進	① LED電球への更新(共用部を優先的実施) ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施								
⑥エコ検定 合格 による環境意識の 向上	前期まで合格者数	2013年度 受験者数	7月合格者数	12月合格者	2013年度合格率	累計合格者数			
	75名	83名	23名	26名	59%	124名			
⑦スタッフ・お客 様への啓発活動	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。								

※CO₂排出係数について、全施設での係数を0.407kg-CO₂/kWhとします。

※基準年度データ見直しの結果、一部数値の修正をしております。

【各施設共通目標について】

- ☆スタッフの環境知識・意識の向上を目的としたエコ検定合格(受検)
- ☆環境配慮意識をスタッフやお客様にご理解いただくための啓発活動

弊社では経営計画や方針管理の中で、全施設でのEA21の導入を目指すことを掲げ、継続的なエコ活動に取り組んでおり、昨年6月の更新審査にて、全社でエコアクション21の展開が完了しました。また、事業拡大に伴

い新たに運営を開始した事業所においても随時導入を進めて行きます。

全施設で取組んでいる『環境社会検定(エコ検定)』合格者数も累計124名となり、全スタッフの合格を目指し、今後も継続して取り組みを進めます。また、エコピープルを核とした環境負荷削減への取り組みを推進し、環境活動のボトムアップを図って行きます。

お客様に満足していただける安全で快適な環境を提供できるよう、施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供に努めます。それと共に、お客様のご理解・ご協力を得られるよう努め、エコ活動の輪を広げて行きます。(※エコアクションを文中ではEA21と表記します。)

【今年度の各施設の活動概要について】

今年度は、全社にてEA21に取組み始め2年目になります。

全体の活動としては、啓発活動を全面に出して活動してきました。スタッフの理解促進を図り、具体的な活動へと結びつき、結果に結びついたと考えています。

弊社の事業拡大に伴い、事業所新設や、人員の変動が多々有ります。各施設でお客様や関係業者様にご協力をいただきながら、それぞれの施設に合った継続的な活動を続けています。

また、適用ガイドラインを『食品事業者向け』としており、食品リサイクルに力を入れて取り組んでおり、今期は良好な結果が出せています。

又、管理本部や関連事業部では、施設を運営していないので、社員への周知や教育を主体として意識向上を大きな目標として取組んで来ました。

今年度は高松テルサで『平成25年度たかまつ緑のカーテンコンテスト』にて特別賞を受賞、高松国際ホテルでは、高松市の『事業所におけるごみ減量・資源化に向けた実証事業』に応募する等、対外的活動にも取り組んで来ました。これからも、地道に活動を継続し、地域社会に生かされ生きる、模範となる企業をめざして努力致します。

【今年度の活動実績と評価】

今年度は、弊社の全施設の活動参加2年目になります。今期の全社の評価としては、省エネ推進、食品リサイクル率の向上、総排水量削減にでは、目標達成が来ていますが、一般廃棄物排出量については、リサイクル率は若干改善されているものの、発生量、排出量共に増加しており、課題が残った。

昨年度未達成の食品リサイクル率については、日々の啓発活動、掲示等で分別の徹底を図り、良好な効果が出せました。

グリーン購入については、文房具等の非消耗品の購入、LED照明の採用を重点的に実施して来ました。又、一部施設において高効率設備機器の導入し、CO₂排出抑制に努めて来ました。

啓発活動として全社を挙げて取組んでいるエコピープルは今期49名合格(累計125名)となり着実に増加しています。

今期活動の全体評価としては、概ね目標を達成出来たと考えています。特に、省エネ、食品リサイクル、節水、については積極的な活動が出来ていると思います。今後も継続して行きます。

しかしながら、廃棄物については一般ごみ、食品ごみ共に発生量、排出量は増加しています。まずはごみを出さないを念頭に置いた取組が重要と考えています。エコピープルを核とした環境活動を推進し、廃棄物の分別管理を徹底し、食品リサイクル率の向上、廃棄物排出量の削減に努めて行きたいと考えています。

尚、今回の集計で、施設によっては目標数値の見直しが必要と思われる項目もあります。各施設別のデータを精査し、各施設、事業部の特性を把握し、今後の運用に反映させて行きたいと考えています。



● 指定管理者事業部 ●

◆ 事業部活動実績と評価 ◆

事業部名：指定管理者事業部									
環境目標項目	実績評価 (原単位：利用者人数1人当り)					昨年度との実績比較			
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	項目	単位	2012年実績 (A)	2013年実績 (B)	対前年度増減 (B)-(A)	
				利用者人数	人	1,429,532	1,483,031	53,499	
①省エネルギー化 推進による CO2排 出量削減	2.041	1.957	clear! (0.084)	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,887,918	2,902,507	14,589	
				使用 実績 内 訳	電気	kWh	5,531,294	5,485,641	clear! (45,653)
					灯油	ℓ			
					A重油	ℓ	294	374	80
					都市ガス	Nm3	276,803	289,601	12,798
					プロパンガス	kg		1,025	1,025
					ガソリン	ℓ	313	553	240
					軽油	ℓ	112	99	clear! (13)
					(kg-CO2)/利用者数				
②廃棄物排出量 削減	30.4	30.2	clear! (0.2)	廃棄物排出量 (a)-(b)	t	52.083	44.851	clear! (7.232)	
				廃棄物 量 内 訳	廃棄物発生量 (a)	t	66.719	61.705	(5.014)
					リサイクル量 (b)	t	14.636	16.854	2.218
					リサイクル率 (b)÷(a)	%	21.94%	27.31%	5.38%
③食品リサイクル 率の向上	96.00%	92.63%	(達成率) 96.49%	食品廃棄物発生量 (c)	t	3.655	7.070	3.415	
				食品リサイクル量 (d)	t	3.403	6.549	3.146	
				リサイクル率 (d)÷(c)	t	93.11%	92.63%	-0.47%	
④節水による総排 水量削減	19.124	16.325	clear! (2.799)	総排水量	m ³	26,066	24,210	clear! (1856.0)	
	L /利用者人数								
⑤グリーン購入の 推進	① LED電球への更新(共用部を優先的実施) ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施								
⑥エコ検定 合格 による環境意識の 向上	前期まで合格者数	2013年度 受験者数	7月合格者数	12月合格者	2013年度合格率	累計合格者数			
	41名	16名	5名	5名	63%	51名			
⑦スタッフ・お客 様への啓発活動	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。								

※CO₂排出係数について、全施設での係数を0.407kg-CO₂/kWhとします。

【今年度の活動実績と評価】

各施設共に良好に管理出来ています。今年度も10人のエコピープルが誕生しました。各施設スタッフの環境意識の高さが伺えます。各施設でグリーンカーテンやグリストラップの汚泥削減等、工夫したエコ活動が見られます。公の施設運営という制約の中で行えるエコ活動を常に念頭に置き活動が出来ています。

又、毎月事業部内でEA担当者会議を開催しており、各館の取組みや問題点の情報共有ができています。指定管理者事業部として、環境展の見学や廃棄物処理施設の視察等実施し、担当者レベルの向上にも努めています。

総評としては、全項目において目標数値が達成できており、良好な管理が出来ています。今後の努力目標としては、一般廃棄物リサイクル率の向上に取り組んでいきたいと思ひます。再生資源の分別回収を進め、単純償却ごみの削減に努めていきたいと思ひます。エコピープルの皆さんが中心となって更なる3Rの推進を進めます。

グリーン購入については、文房具等の非消耗品の購入や、各施設の施設所有者に対しての省エネ提案等もなされており、事業部全体としては、概ね良好な運用がされていると判断しています。

◆ 事業部活動実績と評価 ◆

事業部名： SA&リゾート 事業部									
環境目標項目	実績評価 (原単位:利用者人数1人当り)					昨年度との実績比較			
	①目標値	②実績値	③.評価 (②-①)	項 目	単位	2012年実績 (A)	2013年実績 (B)	対前年度増減 (B)-(A)	
				利用者人数	人	1,319,411	1,293,562	(25,849)	
①省エネルギー化 推進による CO2排 出量削減	1.498	1.508	clear! 0.010	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	1,968,534	1,950,720	clear! (17,814)	
				使用 実績 内訳	電気	kWh	2,791,144	2,647,580	clear! (143,564)
					灯油	ℓ	954	884	clear! (70)
					A重油	ℓ	36,530	38,180	1,650
					都市ガス	Nm3			
					プロパンガス	kg	213,242	230,238	16,996
					ガソリン	ℓ	29,449	25,614	clear! (3,835)
					軽油	ℓ	8,636	6,427	clear! (2,209)
					(kg-CO2)/利用者数				
②廃棄物排出量 削減	31.6	35.9	4.3	廃棄物排出量 (a)-(b)		t	34.854	46.471	11.617
				廃 棄 物 量 内 訳	廃棄物発生量 (a)	t	75.133	92.487	17.354
					リサイクル量 (b)	t	40.279	46.016	5.737
					リサイクル率 (b)÷(a)	%	53.61%	49.75%	-3.86%
					g /利用者数				
③食品リサイクル 率の向上		84.80%	(達成率) #DIV/0! clear!	食品廃棄物発生量 (c)		t	58.719	55.221	(3.498)
				食品リサイクル量 (d)		t	12.159	46.829	34.670
				リサイクル率 (d)÷(c)		t	20.71%	84.80%	clear! 64.10%
				L /利用者人数					
④節水による総排 水量削減	48.304	45.275	clear! (3.029)	総排水量		m ³	66,918	58,566	clear! (8,352)
⑤グリーン購入の 推進	① LED電球への更新(共用部を優先的実施) ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施								
⑥エコ検定 合格 による環境意識の 向上	前期まで合格者数		2013年度 受験者数	7月合格者数	12月合格者	2013年度合格率	累計合格者数		
	6名		15名	4名	5名	60%	15名		
⑦スタッフ・お客 様への啓発活動	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。								

※CO₂排出係数について、全施設での係数を0.407kg-CO₂/kWhとします。

【今年度の活動実績と評価】

省エネ推進、食品リサイクル、総排水量削減については、目標達成が出来ていると判断しています。

廃棄物排出量についてはリサイクル率の減少が有りました。資源化ごみの分別の不徹底が原因と想定されます。ペットボトル、缶類の分別収集の更なる徹底が必要だと思います。各所に掲示することや、ミーティングを利用した啓発活動が必要だと思います。全体のボトムアップの核となるエコピープルについては今期9名の合格者が有りました。今後も継続して行きます。

グリーン購入については、文房具等の非消耗品の購入、LED照明の採用を重点的に実施して来ました。クアパーク・クアタラソにおいては、『緑のカーテン』の取組等に挑戦しています。

津田事業部は高速道路のサービスエリアが有り、利用者数の85%前後を占めております。各施設の利用者数と環境負荷のバランスが悪く、単純に原単位の増減での判断は難しいと判断しております

● ホテル事業部 ●

◆ 事業部活動実績と評価 ◆

事業部名：ホテル事業部									
環境目標項目	実績評価 (原単位:利用者人数1人当り)					昨年度との実績比較			
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	項目	単位	2012年実績 (A)	2013年実績 (B)	対前年度増減 (B)-(A)	
				利用者人数	人	510,522	466,910	(43,612)	
①省エネルギー化 推進による CO2排 出量削減	6.367	6.984	0.617	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	3,399,381	3,260,947	clear! (138,434)	
				使用実績内訳	電気	kwh	5,765,609	5,570,183	clear! (195,426)
					灯油	ℓ			
					A重油	ℓ			
					都市ガス	Nm3	449,699	424,572	clear! (25,127)
					プロパンガス	kg		138	138
					ガソリン	ℓ	4,095	3,853	clear! (242.0)
					軽油	ℓ	4,519	4,093	clear! (426.0)
					(kg-CO2)/利用者数				
②廃棄物排出量 削減	121.0	149.6	28.622	廃棄物排出量 (a)-(b)	t	72.615	69.860	clear! (2.755)	
				廃棄物量内訳	廃棄物発生量 (a)	t	94.490	105.067	10.577
					リサイクル量 (b)	t	21.875	35.207	13.332
					リサイクル率 (b)÷(a)	%	23.15%	33.51%	10.36%
					g /利用者数				
③食品リサイクル 率の向上	52.10%	70.82%	(達成率) 135.93% clear!	食品廃棄物発生量 (c)	t	68.634	76.579	7.945	
				食品リサイクル量 (d)	t	37.765	54.232	16.467	
				リサイクル率 (d)÷(c)	t	55.02%	70.82%	clear! 15.79%	
④節水による総排 水量削減	170.726	193.301	22.575	総排水量	m ³	94,683	90,254	clear! (4429.0)	
	L /利用者人数								
⑤グリーン購入の 推進	① LED電球への更新(共用部を優先的実施) ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施								
⑥エコ検定 合格 による環境意識の 向上	前期まで合格者数	2013年度 受験者数	7月合格者数	12月合格者	2013年度合格率	累計合格者数			
	17名	36名	10名	9名	53%	36名			
⑦スタッフ・お客 様への啓発活動	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。								

※CO₂排出係数について、全施設での係数を0.407kg-CO₂/kWhとします。

【今年度の活動実績と評価】

今期は目標管理においては、省エネルギー、廃棄物排出量削減、総排水量削減について未達成に終わった。しかしながら、実績数値上は削減という結果であった。特に省エネルギーについてはホテル事業部全体で省エネ活動が積極的に実施された結果が、電力使用量、都市ガス使用量の削減に繋がり、CO₂が削減出来たと考えています。

廃棄物排出量削減については、発生量が増えたが、リサイクル率が向上し、排出量自体は削減出来た。しかしながら原単位は25%も悪化しており、原因追求及び改善が必要である。食品リサイクルについては宴会ごみの分別推進により、18ポイントの改善が出来た。

エコビープルは今期19名合格と順調に増加しており、今後のボトムアップに期待したいと思います。

グリーン購入については、文房具等の非消耗品の購入、LED照明の採用を重点的に実施して来ました。又、国際ホテルでは前期のマイクロジョエネシステムを導入に続き、井水活用システムを導入し、設備改善に努めています。

今回の集計で、目標数値の見直しが必要と思われる項目もあります。各施設別の目標数値の見直しを含め精査し、今後の運用に反映させて行きたいと考えています。

● 倉敷事業部 ●

◆ 事業部活動実績と評価 ◆

事業部名：倉敷事業部									
環境目標項目	実績評価 (原単位:利用者人数1人当り)					昨年度との実績比較			
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	項目	単位	2012年実績 (A)	2013年実績 (B)	対前年度増減 (B)-(A)	
				利用者人数	人	135,557	127,381	(8,176)	
①省エネルギー化 推進による CO2排出量削減	3.233	2.516	clear! (0.717)	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	301,643	320,546	18,903	
				使用実績内訳	電気	kwh	407,713	465,185	57,472
					灯油	ℓ	600	618	18
					A重油	ℓ			
	都市ガス	Nm3	45,589		38,949	clear! (6,640)			
	(kg-CO ₂)/利用者数	プロパンガス	kg	9,876	13,439	3,563			
		ガソリン	ℓ						
		軽油	ℓ						
②廃棄物排出量 削減		18.041	30.1	12.1	廃棄物排出量 (a)-(b)	t	2.767	3.834	1.067
	廃棄物量内訳				廃棄物発生量 (a)	t	4.369	6.151	1.782
		リサイクル量 (b)	t	1.602	2.317	0.715			
		g /利用者数	リサイクル率 (b)÷(a)	%	36.67%	37.67%	1.00%		
③食品リサイクル 率の向上	目標設定 なし	-	-	食品廃棄物発生量 (c)	t	36.873	28.844	(8.029)	
				食品リサイクル量 (d)	t	2.283	1.575	(0.708)	
				リサイクル率 (d)÷(c)	t	6.19%	5.46%	-0.73%	
④節水による総排水 量削減	219.690	137.517	clear! (82.173)	総排水量	m ³	18,759	17,517	clear! (1242.0)	
	L /利用者人数								
⑤グリーン購入の 推進	① LED電球への更新(共用部を優先的実施) ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施								
⑥エコ検定 合格 による環境意識の 向上	前期まで合格者数	2013年度 受験者数	7月合格者数	12月合格者	2013年度合格率	累計合格者数			
	0名	5名	1名	3名	80%	4名			
⑦スタッフ・お客 様への啓発活動	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。								

※CO₂排出係数について、全施設での係数を0.407kg-CO₂/kWhとします。

※倉敷では、食品リサイクルを行っていないため、目標設定はありません。

※倉敷事業部の数値は、旅館くらしき、倉敷珈琲館、あなぶき家のものです。

【今年度の活動実績と評価】

倉敷事業部は、倉敷美観地区内の旅館、珈琲専門店、近郊のうどん店舗の小規模事業所で構成されています。
省エネルギー推進、総排水量削減については、概ね良好な状態と判断しています。残念ながら食品リサイクルについては、回収業者が無く、対応できていません。又、廃棄物排出量については数量減とはなっていますが、原単位はオーバーという結果となっています。過去データが少ないので経過観察をして行きたいと考えています。
昨年度はいなかったエコピープルが今年度4名と大きく増加できました。今後も継続し、社員の環境意識の向上を目指して、受験指導等、計画的な取組を進めます。

● 関連事業部・管理本部 ●

◆ 事業部活動実績と評価 ◆

事業部名： 関連事業部・管理本部								
環境目標項目	実績評価 (原単位:利用者人数1人当り)					昨年度との実績比較		
	①目標値	②実績値	③.評価 (②-①)	項 目	単位	2012年実績 (A)	2013年実績 (B)	対前年度増減 (B)-(A)
				利用者人数	人	28,523	26,864	(1,659)
①省エネルギー化 推進による CO2排 出量削減	目標設定 なし	-	-	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	15,667	6,811	clear! (8,856)
				電気	kWh	36,470	14,407	clear! (22,063)
	(kg-CO2)/利用者数			灯油	ℓ			
				A重油	ℓ			0
				都市ガス	Nm3			0
				プロパンガス	kg			
				ガソリン	ℓ	355	408	53
				軽油	ℓ			0
②廃棄物排出量 削減	目標設定 なし	-	-	廃棄物排出量 (a)-(b)	t	0.897	1.956	1.059
				廃棄物発生量 (a)	t	1.302	2.253	0.951
	g /利用者数			リサイクル量 (b)	t	0.405	0.297	(0.108)
				リサイクル率 (b)÷(a)	%	31.11%	13.18%	-17.92%
				③食品リサイクル 率の向上				食品廃棄物発生量 (c)
食品リサイクル量 (d)	t							
リサイクル率 (d)÷(c)	t							
④節水による総排 水量削減	目標設定なし	-	-	総排水量	m ³	73	83	10.0
	L /利用者人数							
⑤グリーン購入の 推進	① LED電球への更新(共用部を優先的実施) ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施							
⑥エコ検定 合格 による環境意識の 向上	前期まで合格者数	2013年度 受験者数	7月合格者数	12月合格者	2013年度合格率	累計合格者数		
	11名	11名	3名	4名	64%	18名		
⑦スタッフ・お客 様への啓発活動	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。							

※CO₂排出係数について、全施設での係数を0.407kg-CO₂/kWhとします。

※数値は、ストアマネジメント課のみ(2013年度より、管理本部事務所移転のため数値なし)のため目標設定はありません。

※2012年度の利用者人数を、ストアマネジメント課の通販利用者人数を除いたものに変更いたしました。

【今年度の活動実績と評価】

関連事業部は、物販を中心とするストアマネジメント課と、住宅型有料老人ホームの施設をお借りして給食事業を行うフーズケア課からなっております。管理本部も水光熱の使用量については計量できる環境に無く、上記の数値はストアマネジメント課の物販店舗のものとなっています。管理本部は今年度事務所移転をしており、条件が異なる為、数値の目標管理については評価出来ないと判断しています。

管理本部及びストアマネジメント課は、事務作業が中心で有り、各社員のモラルアップの為の教育を主体として取り組んで来ました。日常のミーティング内にて、エコ活動について理解を深めて来ました。

又、フーズケア課の調理スタッフについては、食品リサイクルやエコ活動の重要性について理解を深めるべく日頃努めています。エコピープルも今年度7名増と順調に増加しています。

全体としては良好な運用が出来ていると評価しています。

6.各施設活動報告

- 指定管理者事業部
 - ①サンメッセ香川
 - ②アルファあなぶきホール
 - ③高松テルサ

- SA&リゾート事業部
 - ①クアパーク津田 & クアタラソさぬき津田
 - ②津田の松原サービスエリア
 - ③アルファ津田カントリークラブ

- ホテル事業部
 - ①高松国際ホテル
 - ②チサン イン高松
 - ③ロイヤルパークホテル高松
 - ④琴平パークホテル
 - ⑤リーガホテルゼスト高松

- 倉敷事業部
 - ①旅館くらしき・倉敷珈琲館

- 関連事業部・管理本部
 - ①あなぶき家庭瀬店
 - ②ストアマネジメント課・フーズケア課
 - ③管理本部

各施設での1年間(平成24年4月～平成25年3月)の活動をレポートにまとめました。
施設ごとに、個性のある取組みをしています。ぜひご覧ください。

6-1サンメッセ香川



	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	1.154	1.090	▲0.064	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	709,155(kg-CO ₂)	724,286(kg-CO ₂)	15,131(kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	1,132,021 (kWh)	1,139,780(kWh)	7,759(kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	108,285(m ³)	112,659(m ³)	4,374(m ³)
2.分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量削減(食品 廃棄物を除く)	61.1	52.8	▲8.3	排出量((a)-(b))(t)	32.500(t)	35.100(t)	2.600(t)
				廃棄物発生量(a)(t)	39.800(t)	43.661(t)	3.861(t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)(t)	7.300(t)	8.561(t)	1.261(t)
3.食品リサイクル率の向上				排出量((c)-(d))(t)			
				総発生量(c)(t)			
				リサイクル量(d)(t)			
4.節水による総排水量削減	7.760 (ℓ)/人	6.952 (ℓ)/人	▲0.808 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	4,746(m ³)	4,618(m ³)	▲128(m ³)
5.エコ検定合格(受検)による 環境意識の向上	1 名	1 名	100%	6.スタッフ、お客様 への啓発活動	・エコ活動の提案及び実績報告会を毎月実施。 ・空調利用時の扉の開放注意を掲示しています。		
7.グリーン購入の実施	LED 電球の使用推進 : 館内外、優先順位の高いものから順次切り替えております。 文房具等物品購入 : グリーン購入対象品を出来る限り優先して購入しております。						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力) ※ 食品は取り扱っておりません。

【活動実績及びその評価】

前年度(2012年度)と比較して、電気、ガスの使用量は、来館者数増加による展示場、会議室の稼働時間の増加と外的要因(気温)に起因する空調稼働時間、負荷の増大により増加しましたが、削減努力の結果、利用者1人当たりに対する環境目標項目すべての目標値を上回ることができました。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

☆準備・撤去時の照明について、安全面を確保しつつ必要最低限に減灯を行い、またバックヤードの蛍光灯を間引く等、消費電力の削減に努めています。
☆展示場の屋外扉に隙間テープを貼り外気との遮断を行い、空調負荷を減らしています。
☆業務終了後は、必要なOA機器以外の電源を切り、待機電力による電気使用量の削減を行っています。
☆冷暖房使用期間においては、巡回時に扉開閉の確認を行うと共にご来場者に対して扉を閉めていただくようご協力をお願いし、気候の良い時期は、外気を取り入れてロビー・エントランスの空調を停止しています

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆トナーカートリッジ、シュレッダー等はリサイクル回収(100%回収)しています。
☆清涼飲料水のプルタブ、ペットボトルのキャップは、回収業者に送付、リサイクルしています。
☆従業員は水筒或使用済みペットボトルにお茶や水を入れて持参または、マイカップ使用するように努めております。

《食品リサイクル率の向上について》

☆ドリンク備品については、注文数量に応じて必要最低限の発注を行い、消費期限にも配慮しながら適正な在庫管理をしています。
※食品リサイクル率には関係していませんが、従業員の意識向上につながっています。

《節水による総排水量削減について》

☆従業員及び施設協力会社において館内巡回時等に、手洗い水栓・洗浄器具の漏水や器具に不備が無いか確認を行っています。
☆ご来館者に節水へのご協力をお願いするための「ご案内表示」を館内各所に掲示しています。

【次年度の取組内容について】

☆公共施設ならではの制約もありますが、館内外における照明のLED化も含め、可能な限り節電、節水設備機器導入の検討を進めてまいります。

☆日々の取り組みを継続しつつ改善可能な点(照明点灯時間、空調温度、ペーパーレス化等)を見直します。

☆エコ検定試験、環境研修やセミナー、勉強会等参加による従業員の知識向上を行います。以上



屋外扉の隙間にテープを貼り、外気を遮断しています。



6-2アルファあなぶきホール



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1 人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	3.077	3.126	0.049	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	1,347,405(kg-CO ₂)	1,365,906(kg-CO ₂)	18,501(kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	2,916,108(kWh)	2,926,638(kWh)	10,530(kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	70,000(m ³)	76,127(m ³)	6,127(m ³)
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減(食品廃棄物を除く)	34.6	26.1	▲8.5	排出量((a)-(b))(t)	14.949(t)	5.879(t)	▲9.07(t)
				廃棄物発生量(a)(t)	18.840(t)	11.121(t)	▲7.719(t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)(t)	3.891(t)	5.242(t)	1.351(t)
3.食品リサイクル率の向上	80.00%	89.11%	9.11%	排出量((c)-(d))(t)	0.134(t)	0.521(t)	0.387(t)
				総発生量(c)(t)	1.301(t)	4.784(t)	3.483(t)
				リサイクル量(d)(t)	1.167(t)	4.263(t)	3.096(t)
4.節水による総排水量削減	31.816 (ℓ)/人	27.938 (ℓ)/人	▲3.878 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	13,237(m ³)	12,208(m ³)	▲1,029(m ³)
5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上	4 名	2 名	50.0%	6.スタッフ、お客様への啓発活動	・毎月 2 回管理業者との定例会を開催し、議事録を回覧してエコ意識の共有を行っています。 ・館内各所の表示によるお客様へのご協力依頼の実施。		
7.グリーン購入の実施	LED 電球の使用推進 : パブリック及び外壁照明を中心に 1,745 個交換しており、優先順位の高いものから順次交換して参ります。 文房具 : グリーンマークやエコマークの付いた商品を極力購入。						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力) ※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

【活動実績及びその評価】

前年度と比較して、電気、ガスの使用量が増加しました。ホールの稼働時間、気候などの外的要因によるものが大きく影響したと想定しています。

ホール舞台、設備の運用に関しては、委託会社が入っておりますが、協力体制で使用電力等の削減に繋がっていきます。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

☆ レストラン・サービスセンターの営業時間の見直しを行い、電力の削減に繋がりました。

(年間消費電力 約3,816kwhの削減)

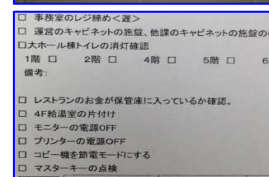
☆ 施設内に8台ある洋式トイレの温便座の調整スイッチをOFFにしました。

(年間消費電力 約279.2kwhの削減)

☆ 7月16日～10月31日の期間で、小ホール棟にある2基のエレベーターの内、1基のみ稼働させ、電力の削減に繋がりました。

☆ 夜間、従業員による館内の見廻りを実施し、トイレ等不要照明の消灯を実施しました。

☆ 館内に11台ある自動販売機の内、8台をヒートポンプ方式環境対応型の自動販売機に変更しました。



夜間見回り表を作成

《食品リサイクル率の向上について》

☆ レストラン・宴会で発生するゴミを分別し、食品リサイクル量の増加に繋がっています。

☆ 食品廃棄物(廃食用油)のリサイクルに取り組んでいます。



《節水による総排水量削減について》

☆ 館内の配水を減圧しており、節水に繋がっています。

【次年度の取組内容について】

☆ 更なるエコ活動推進のために他の施設を見学し、スタッフの意識向上と、良い部分を取り入れる水平展開に努めます。

☆ 館内照明のLED化を進め、必要箇所には積極的に導入します。

☆ 長時間の離席時には、パソコンをスタンバイモードにするなど、身近な電力削減を徹底します。 以上

6-3高松テルサ



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1 人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	1.736	2.127	0.391	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	831,357(kg-CO ₂)	812,313 (kg-CO ₂)	▲19,044(kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	1,483,165 (kWh)	1,419,223 (kWh)	▲63,942 (kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	98,518(m ³)	101,310(m ³)	2,792(m ³)
2.分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量削減(食品 廃棄物を除く)	14.5	13.9	▲0.6	排出量((a)-(b))(t)	4.634(t)	3.872(t)	▲0.762(t)
				廃棄物発生量(a) (t)	8.079(t)	6.923(t)	▲1.156(t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b) (t)	3.445(t)	3.051(t)	▲0.394(t)
3.食品リサイクル率の向上	95%	100%	5%	排出量((c)-(d))(t)	0.118(t)	0(t)	▲0.118(t)
				総発生量(c) (t)	2.354(t)	2.286(t)	▲0.068(t)
				リサイクル量(d) (t)	2.236(t)	2.286(t)	0.050(t)
4.節水による総排水量削減	24.250 (ℓ)/人	19.337 (ℓ)/人	▲4.913 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	8,083(m ³)	7,384(m ³)	▲699(m ³)
5.エコ検定合格(受験)による 環境意識の向上	4 名	6 名	150%	6.スタッフ、お客様 への啓発活動	・毎月の定例会議での取組案の提案 ・館内各所の表示によるご協力依頼の実施		
7.グリーン購入の実施	LED 電球の使用推進 : パブリック及び客室階ロビー照明を中心に 264 個交換済み 文房具 : グリーンマーク対象品を購入						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力)

※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

☆ 7月20日～8月31日までの間、会議室1室を開放し、涼しい場所を提供するクールシェアを実施しました。昨年度より告知を拡大したことにより、小学生、中学生延べ143人のご利用がありました。保護者の方々からも感謝の声をいただき、家庭での使用電力を減らし、節電につなげることで身近なCO₂削減に貢献します。

☆ 1階ラウンジ、レストラン西側に緑のカーテンを実施しました。高さ4.7mまでつるが伸び、生茂った葉は直射日光をカットし、館内フロアの冷房温度も25℃から27.5℃に変更し、電力量削減に繋がりました。また、「たかまつ緑のカーテン・コンテスト」に応募し、特別賞を受賞しました。



《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ グリストラップ清掃を石鹸化衛生工法『グリピカ』に切り替え、下記の効果が得られました。

	(旧)バキューム工法	(新)石鹸化衛生工法『グリピカ』
環 境	産業廃棄物として処分 焼却処分CO ₂ 排出	廃油(植物性油)を無害な石鹼水にして排水 残りは少量のゴミ(一般廃棄物)のみ
衛 生	スカム(油脂汚泥)を 除去し水洗浄	石鹼水に殺菌・滅菌効果があり 悪臭や害虫の発生を防止する
設 営 維 持	水洗浄で油脂除去は困難	排水管内の油脂を除去し、閉管を予防する為、 管洗浄・交換・補修工事の周期を延長できる



■廃油を石鹼水にする作業



■石鹼水にした

【次年度の取組内容について】

- ☆ 館内LED化を継続して実施し、電力量削減に向けて取り組みます。
- ☆ 他の複合施設を視察見学し、そこで得たアイデアや成功事例を積極的に導入し、更なる効率化を図ります。
- ☆ 地域の交流拠点となる施設を目指し、環境活動に即した情報提供やイベントを企画します。
- ☆ 施設内未使用時の客室フロア空調・照明オフの啓発及び巡回による実施状態の確認と指導の徹底を行います。

以上

6-4クアパーク津田・クアタラソさぬき津田



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1 人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	8.497	8.094	▲0.403	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	962,344 (kg-CO ₂)	988,599 (kg-CO ₂)	26,255 (kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	1,132,224(kWh)	1,087,834(kWh)	▲44,390(kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	71,582(m ³)	77,061(m ³)	5,479(m ³)
2.分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量削減(食品 廃棄物を除く)	310.4	133.1	▲177.3	排出量((a)-(b))(t)	10.760(t)	16.253(t)	5.493(t)
				廃棄物発生量(a)(t)	20.570(t)	20.521(t)	▲0.049(t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)(t)	9.810(t)	4.268(t)	▲5.542(t)
3.食品リサイクル率の向上	9.61%	100.00%	80.39%	排出量((c)-(d))(t)	12.051(t)	0(t)	▲12.051(t)
				総発生量(c)(t)	13.332(t)	5.673(t)	▲7.659(t)
				リサイクル量(d)(t)	1.281(t)	5.673(t)	4.392(t)
4.節水による総排水量削減	374.420 (ℓ)/人	315.616 (ℓ)/人	▲58.804 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	44,695(m ³)	38,549(m ³)	▲6,146(m ³)
5.エコ検定合格(受検)による 環境意識の向上	4 名	3 名	75%	6.スタッフ、お客様 への啓発活動	・ミーティング時スタッフへの節電活動の呼びかけ ・館内各所の表示による御協力依頼の実施		
7.グリーン購入の実施	文房具 : グリーンマーク対象品を極力購入 【実績】クアパーク津田 : 53,133 円 クアタラソさぬき津田 : 18,919 円 合計 72,052 円						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力)

※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

【活動実績及びその評価】

省エネルギー推進、節水、廃棄物リサイクルは目標達成、残念ながらガス使用量の増加があったが、配管の老朽化による搬送ロスが原因と想定され、今後の課題である。『エコ検定合格者』については目標未達ですが、4名受検し3名合格いたしました。今年度はクアパーク・クアタラソにおいてゴミの計量、徹底した分別を実施し、食品ゴミのリサイクルへ貢献できました。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

☆ クアパーク・クアタラソ1F南側窓にグリーンカーテン(ゴーヤや朝顔)を実施しました。(写真①)

☆ クアパーク1階廊下窓側に新たによしずも設置しました。

☆ 成25年12月 クアタラソ館内ダウンライトを中心にLEDに変更しました。

トイレの電気は、人感センサーによるLEDを採用しました。

☆ クアタラソ閉館後不要な電気を消灯(毎日30分使用量節約！)した上で片付けに入るようにしました。

☆ ウォータースライダー使用中カードを作成し、スライダーポンプ作動の電気を削減できました。

☆ 冬季中の保温シート、新たに気泡浴にも設置するようにしました。(写真②)

☆ クアパーク客室の初期点灯照明を削減(トイレ、洗面所)しました。また、冷蔵庫の電源にスイッチを設置し、ご利用の時だけつけて頂くようにしました。(写真③)

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ 部署(宿泊・料飲・清掃・調理・クアタラソ)毎に、分別回収、記録するようにしました。(平成25年6月より)

☆ 紙類(段ボール、チラシ、シュレッダー)は、協力会社に買い取りで回収してもらうようになりました。

☆ エコキャップ運動(小学校500個・教会1500)、宿泊インターネットエコプラン販売、継続実施しています。

《食品リサイクル率の向上について》

☆ 生ゴミとその他のゴミを分別するようにして、100%リサイクルできました。(写真④)

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆ 月々の使用光熱費をグラフにし掲示し、スタッフ全員が前年同月と比較・意識できています。

☆ 一般利用客にタオルを持参して頂き、不要な洗濯の防止、電気・水道・洗剤の節約の取組みを呼掛けました。

☆ 読み終わった本を持参して頂き、新しい読み手が持って帰る、本のリユースを実行(写真⑤)。

【次年度の取組内容について】

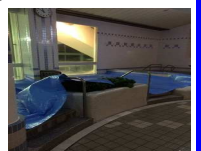
☆ 更なるエコ活動の推進のためにスタッフ、お客様への啓発活動の推進。(宿泊エコプラン、タラソタオル持参運動)

☆ 照明器具のLED化促進等高効率機器への更新促進。

以上



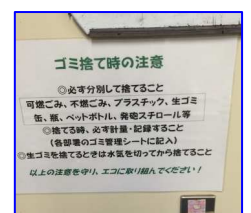
写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤

6-5津田の松原サービスエリア



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1 人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	0.608	0.623	0.015	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	715,816(kg-CO ₂)	708,355(kg-CO ₂)	▲7,461(kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	1,330,794(kWh)	1,271,361(kWh)	▲59,433(kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	26,234(m ³)	29,392(m ³)	3,158(m ³)
2.分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量削減(食品 廃棄物を除く)	39.000	23.672	▲15.328	排出量((a)-(b))(t)	19.224(t)	26.914(t)	7.69(t)
				廃棄物発生量(a)(t)	47.008(t)	65.600(t)	18.592(t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)(t)	27.784(t)	38.686(t)	10.902(t)
3.食品リサイクル率の向上	24.74%	89.80%	65.06%	排出量((c)-(d))(t)	28.769(t)	4.653(t)	▲24.116(t)
				総発生量(t)	38.673(t)	45.166(t)	6.493(t)
				リサイクル量(t)	9.904(t)	40.513(t)	30.609(t)
4.節水による総排水量削減	12.000 (ℓ)/人	12.011 (ℓ)/人	0.011 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	13,325(m ³)	13,662(m ³)	337(m ³)
5.エコ検定合格(受検)による 環境意識の向上	2 名	4 名	200%	6.スタッフ、お客様 への啓発活動	・スタッフへの定期教育については、週2回朝・夕礼にて実施 ・館内各所の表示による御協力依頼の実施		
7.グリーン購入の実施	LED 電球の使用推進 : パブリック及び店内照明を中心に交換済み 文房具 : グリーンマーク対象品を極力購入(本年度実績 61,929 円)						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力) ※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

【活動実績及びその評価】

- ◆ 今期より、食品廃棄物の分別回収を徹底し、良好な結果を得た。
- ◆ 省エネルギー化推進については、めんゆで機を更新した影響でガス使用量の増がありますが、電気使用量減・ガソリン使用量減で補い、概ね良好に運営出来たと判断しています。今期データを基に、設定目標値の検証も実施し、来年の活動につなげて行きます。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

- ☆ パブリックスペース及び店用スポット及びダウンライトを上下SA共にLEDに変更(平成25年6月26日)、省エネ効果として上り:59%、下り47%を期待しています。
- ☆ 屋外と温度差の無い中間期(3～5月、10、11月)等、空調エアコンの全停止により、電力使用量を削減。
- ☆ 倉庫、トイレ、事務所不在時の照明消し忘れ等、啓発活動により改善。
- ☆ 厨房機器等省エネ機器への更新。【平成25年7月19日 冷凍冷蔵庫購入(新型インバーター省エネ率37.7%)】
- ☆ ガス厨房機器に関して、下り側にてめんゆで機2台購入(1台は増設)により1台分のガス使用料が追加量となり、目標未達成となっていますが、今期のデータを基に目標設定値を検証・実施いたします。但し、ガス使用量削減も含めて、平日・閑散時には、ガス釜1台停止する等、使用量削減に努めております。
- ☆ 食材運搬車を軽自動車に変更(平成25年3月15日) ガソリン消費量前年比(74.0% ▲1,248ℓ)



《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ シュレッダー・コピー用紙の廃棄を古紙回収専門業者に依頼しリサイクル。
- ☆ 当社管理外の無料お茶の紙コップ等に関してもさぬき市SA公社に働きかけて古紙リサイクルとして、回収業者に依頼することとした(0.93t)。
- ☆ 割り箸リサイクル【1,525kg ボックスティッシュ 2,288箱分】及びエコキャップ回収運動【570.3kg ポリオワケン 285本分】は継続。

《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ 食品廃棄物の分別回収の徹底、専用保管容器を設置し、良好な結果と成った。
- ☆ 廃食用油のリサイクルに取り組んでいます。(※廃食用油は、飼料へとリサイクルされています。)
- ☆ 調理方法の工夫により、食材の有効利用を行い、食品廃棄物を削減できるよう工夫しています。

《節水による総排水量削減について》

- ☆ 目標未達だったが、厨房での使用が大半を占めており、削減が難しい状況である。各所への啓発表示を実施し、削減に努めています。
- ☆ 設備水道メーターの確認及び蛇口等の早期修繕を心がけた。

《グリーン購入の実施について》

- ☆ 通常購入備品についてはエコマーク製品の購入に努めました。

【次年度の取組内容について】

- ☆ 更なるエコ活動の推進のためにスタッフ(朝・夕礼を通じて)、お客様への啓発活動の推進。
- ☆ グリーンカーテンの実施(夏場の省エネ対策として ゴーヤ・朝顔) 上り線(直射日光にて下りより体感温度が高い)。
- ☆ 排出量削減 コンポストの活用 下り線(5/1～再度野菜くず)し、少量ではあるが削減。
- ☆ 廃棄物削減 あなぶき家 割り箸からプラスチック箸に変更検討。
- ☆ 空調設備 省エネ型に変更、エアカーテンの設置(昨年度検討項目としていたが、実施にいたらず今期の検討項目とした)



以上

6-6アルファ津田カントリークラブ



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1 人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	7.740	7.455	▲0.285	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	290,372(kg-CO ₂)	253,766(kg-CO ₂)	▲50,300(kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	328,126(kWh)	288,385(kWh)	▲39,741(kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	5,276(m ³)	4,773(m ³)	▲503(m ³)
2.分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量削減(食品 廃棄物を除く)	175.6	97.0	▲78.6	排出量((a)-(b))(t)	4.820(t)	3.304(t)	▲1.516(t)
				廃棄物発生量(a)(t)	7.555(t)	6.366(t)	▲1.189(t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)(t)	2.735(t)	3.062(t)	0.327(t)
3.食品リサイクル率の向上	目標設定なし	-	-	排出量((c)-(d))(t)	5.740(t)	3.738(t)	2.087(t)
				総発生量(c)(t)	6.714(t)	4.380(t)	▲2.334(t)
				リサイクル量(d)(t)	0.974(t)	0.642(t)	▲2.087(t)
4.節水による総排水量削減	172.660 (ℓ)/人	186.703 (ℓ)/人	14.043 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	8,898(m ³)	6,355(m ³)	▲2,543(m ³)
5.エコ検定合格(受検)による 環境意識の向上	2 名	2 名	100%	6.スタッフ、お客様 への啓発活動	・朝礼での周知及び各部署に注意事項を掲示。 ・掲示板に環境活動の報告を掲示し、お客様に 関心をもって頂き、ご協力をお願いしている。		
7.グリーン購入の実施	LED 電球の使用推進 : 館内の80%を LED 化(男性の脱衣所等) 随時 LED に交換していく予定 文房具 : 昨年度に引き続きエコマークの付いたものを使用。その他は随時交換予定。						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力)

※ 食品リサイクル車が手配不能のため、目標値は設定しておりません。食品リサイクル量は、廃食用油のみです。

【活動実績及びその評価】

食品リサイクル以外については、概ね目標を達成できました。食品リサイクルについては、回収業者が見つからず、現在に至っている。減量化を主体に今後も取り組んで行く。今後もさらに高い目標値を達成できるようスタッフ全員で協力していきます。

排水量の削減については、昨年数値に漏水量が含まれており、今回は評価対象外とさせていただきます。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

☆ 朝礼などでの周知・各部署に注意事項を掲示し、昨年度にも増してスタッフが細かい所まで気を配り節電を心がけた結果、CO₂排出量が削減出来、電気使用量、ガス使用量も削減することができました。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ 一般廃棄物の分別回収を徹底して来ましたが、特に発生量の多いPETボトルについてはリサイクルに回せるようになり、昨年度より1t以上削減することができました。

また、コピー用紙等の事務用品の在庫管理を見直し排出量の削減に努めました。

《食品リサイクル率の向上について》

☆ 近隣に施設が無いので食品ごみ回収車両が業者のいない中、厨芥ごみの水切り、食材に無駄がでないように調理を工夫しました。廃食用油については、100%リサイクルをしています。



《節水による総排水量削減について》

☆ お客様用トイレ及びスタッフが使用する蛇口付近にシールを貼り節水を呼びかけました。

☆ 当ゴルフ場では、浄化槽排水を直接放流しておらず、散水用水源として、全量貯水池に溜めており、日常の場内散水用として再利用しています。



《グリーン購入の実施について》

☆ 文房具に関してはエコマークのついた製品を使用。LED電球等は随時交換していく予定です。



【次年度の取組内容について】

☆ 今年度以上にエコ活動への関心をスタッフ・お客様に持ってもらい、すべての環境目標を達成する。

☆ 引き続きエコキャップ・プルタブ回収活動を行う。

以上

6-7高松国際ホテル



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1 人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	5.073	6.516	1.443	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	1,228,292(kg-CO ₂)	1,258,590(kg-CO ₂)	30,298(kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	2,281,700(kWh)	2,282,780(kWh)	1,080(kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	123,522(m ³)	135,738(m ³)	12,216(m ³)
2.分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量削減(食品 廃棄物を除く)	84.4	140.5	56.1	排出量((a)-(b))(t)	18.202(t)	25.188(t)	7.440(t)
				廃棄物発生量(a)(t)	25.108(t)	39.217(t)	14.109(t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)(t)	6.906(t)	14.029(t)	7.123(t)
3.食品リサイクル率の向上	50.00%	75.22%	25.22%	排出量((c)-(d))(t)	16.560(t)	19.113(t)	2.553(t)
				総発生量(c)(t)	26.762(t)	33.142(t)	6.38(t)
				リサイクル量(d)(t)	10.202(t)	24.929(t)	14.696(t)
4.節水による総排水量削減	151.320 (ℓ)/人	168.076 (ℓ)/人	16.756 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	34,601(m ³)	32,463(m ³)	▲2,138(m ³)
5.エコ検定合格(受検)による 環境意識の向上	2 名	6 名	300%	6.スタッフ、お客様 への啓発活動	新規従業員への教育、意識付けを実施 お客様へ館内ご協力依頼の掲示		
7.グリーン購入の実施	LED 電球交換の推進 : 館内パブリックスペースをはじめ客室など、効果的なものから 247 個交換済み 事務用品等 : 購入可能なものを極力購入						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力)

※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

【活動実績及びその評価】

エコ検定合格者数を除き、目標未達に終わった。特に電気使用量、ガス使用量共に増加している。コジェネ導入により、ガス使用量が増加したのはやむを得ないが、反面、削減を期待した電力使用量も増加しており、原因分析が必要と考える。

さまざまな取り組みにより、廃棄物リサイクル率は向上したが、ゴミの発生量が大幅に増加している。原因究明が必要と思われる。排水量の削減については、総量は削減出来たが、原単位管理では未達で残念な結果となった。来期目標達成に向けての改善が必要である。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

- ☆ タイマー制御照明の点灯時間を見直し、こまめな調整、深夜のロビーなど照明を必要最低限にしています。
- ☆ 宴会場照明スイッチに一時間当たりの電力使用料金を掲示し設営・片付け作業時の節電を啓発。



エアコンスイッチへの表示

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ シュレッダー・コピー用紙やダンボールの廃棄を古紙回収専門業者に依頼しリサイクルしています。
- ☆ ペットボトル・空き缶等の資源ごみの分別回収に取り組んでいます。(協力会社様と協力して実施)

《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ 廃食用油のリサイクルに取り組んでいます。(※廃食用油は、飼料へとリサイクル)。
- ☆ 調理方法の工夫により、食材の有効利用を行い、食品廃棄物を削減できるよう工夫しています。
- ☆ 宴会場発生ごみを分別(生ごみ・以外の可燃物)することにより食品リサイクル量を増加致します。



《節水による総排水量削減について》

- ☆ 節水の掲示等の啓発活動により、水道の使用量を削減出来ました。又、今期より地下水処理システムを導入し、上水として使用しており、市水の使用量は5%程度となっています。残念ながら、老朽化配管より700tの漏水があり、改修の必要性も感じております。



ごみ分別方法掲示

【次年度の取組内容について】

- ☆ 個別空調で温度調整が可能なプライベートエリアの温度を夏:28度、冬20度 に設定。
- ☆ 照明器具のLED化促進。設備機器のメンテナンスを充実させ、エネルギーの効果的な使用を目指します。

以上

6-8チサンイン高松



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	10.069	9.422	▲0.647	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	305,419(kg-CO ₂)	305,806(kg-CO ₂)	387(kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	420,504(kWh)	393,622(kWh)	▲26,882(kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	58,544(m ³)	63,483(m ³)	4,939(m ³)
2.分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量削減(食品 廃棄物を除く)	288.0	194.1	93.9	排出量((a)-(b))(t)	8.760(t)	6.299(t)	▲2.461(t)
				廃棄物発生量(a)(t)	9.739(t)	10.351(t)	0.612(t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)(t)	2.094(t)	4.052(t)	1.958(t)
3.食品リサイクル率の向上	目標設定なし	-	-	排出量((c)-(d))(t)	0.637(t)	0.347(t)	▲0.290(t)
				総発生量(c)(t)	0.637(t)	0.347(t)	▲0.290(t)
				リサイクル量(d)(t)	-	-	-
4.節水による総排水量削減	393.056 (ℓ)/人	427.075 (ℓ)/人	34.019 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	13,237(m ³)	13,862(m ³)	625(m ³)
5.エコ検定合格(受検)による 環境意識の向上	2 名	0 名	0%	6.スタッフ、お客様 への啓発活動	・スタッフへの定期教育・勉強会の開催 ・館内各所の表示による御協力依頼の実施		
7.グリーン購入の実施	冷温水発生機の更新 : 都市ガス消費量削減(5500m3/年 約 18%) 文房具 : グリーンマーク対象品を極力購入						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力) ※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。
※食品リサイクル率は、朝食のみの提供のため廃棄物が少なく設定していません。

【活動実績及びその評価】

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

- ☆ ロビーの照明を24時から6時30分まで必要最小限の物を残し消灯しています。
- ☆ 四季に合わせた空調での節電を実施しております。
- ☆ 閑散日に販売する宿泊客室フロアを限定し、売り止めフロアは照明・エアコン全停止に努めています。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ シュレッダー・コピー用紙の廃棄を古紙回収専門業者に依頼しリサイクルしています。
- ☆ 廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、納品業者様に梱包材(ダンボール等)の回収を依頼しています。
- ☆ プリンターカートリッジのリサイクル回収(100%回収)をしています。

《食品リサイクル率の向上について》

当ホテルレストランは朝食専用にて使用しており、前日の予約にて利用者数を把握し、調理済みの食材使用や、利用者数に合わせた食材の仕入れを実施し食品廃棄物の発生を軽減するように努めています。毎日の廃棄物量が少なく、やむなく一般廃棄物として処理しております。

《節水による総排水量削減について》

- ☆ 各所への啓発表示を実施しております。
- ☆ 館内の定期点検時に、お客様トイレ等点検し無駄な吐水がないように対応いたしました。

《グリーン購入の実施について》

- ☆ 通常購入備品についてはエコマーク製品の購入に努めました。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

- ☆ 館内各コピー機にミスコピー防止のPOPを貼り削減できるよう努めました。

【次年度の取組内容について】

- ☆ 更なるエコ活動の推進のためにスタッフ、お客様への啓発活動の推進。
- ☆ 照明器具のLED化促進等高効率機器への更新促進。
- ☆ 事務所など個別空調で温度調整が可能なプライベートエリアの温度管理の徹底

以上

6-9ロイヤルパークホテル高松



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1 人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	10.092 (kg-CO ₂)/人	10.257 (kg-CO ₂)/人	0.165 (kg-CO ₂)/人	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	531,440 (kg-CO ₂)	525,201 (kg-CO ₂)	▲6,239 (kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	815,903(kWh)	838,715(kWh)	22,812(kWh)
				ガス使用量(m ³)	86,925(m ³)	80,157(m ³)	▲6,768(m ³)
2.分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量削減(食品 廃棄物を除く)	159.1 (g)/人	248.8 (g)/人	89.7 (g)/人	排出量((a)-(b))(t)	21.800(t)	12.742(t)	▲9.058(t)
				廃棄物発生量(a)(t)	27.771(t)	17.477(t)	▲10.294(t)
				リサイクル量(b)(t)	5.971(t)	4.735(t)	▲1.236(t)
3.食品リサイクル率の向上	52.00%	86.70%	34.7%	排出量((c)-(d))(t)	3.470(t)	0.976(t)	▲2.494(t)
				総発生量(c)(t)	15.230(t)	7.356(t)	▲7.874(t)
				リサイクル量(d)(t)	11.760(t)	6.380(t)	▲5.38(t)
4.節水による総排水量削減	260.930 (ℓ)/人	264.452 (ℓ)/人	3.522 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	13.587(m ³)	13.541(m ³)	▲0.046(m ³)
5.エコ検定合格(受検)による 環境意識の向上	4 名	1 名	25%	6.スタッフ、お客様 への啓発活動	・電気料金アップによるコスト上昇への啓発活動 ・館内各所の表示による御協力依頼の実施		
7.グリーン購入の実施	文房具 : グリーンマーク対象品を極力購入						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂/kWh)(四国電力)

※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

【活動実績及びその評価】

今期は全項目において、目標未達に終わりました。前年度は廃棄物量の把握が不十分であり、今期より、正確を期するため、1F(立駐機横)・3F(洗い場)・7F(日東事務所)にゴミの収集・計測場所を設置しました(写真①)。また、紙ごみはシュレッダーにかけ廃棄を古紙回収専門業者に依頼しリサイクルを推進しました。しかしながら、一般廃棄物のリサイクルが進んでおらず、更なる分別回収の実施、リサイクルが必要である。

省エネルギー推進については、ガス使用量は削減出来たが、電気使用量が増加しており、未達となっている。今期実績を検証し、継続的な改善を実施し、来年の活動につなげて行きます。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

- ☆ 宴会場照明は宴会スタッフから連絡があった時点で点け施行後確認しすばやく消灯するようにして節電しています。
- ☆ 閑散日に販売する宿泊客室フロアを限定し、売り止めフロアは照明・エアコン全停止に努めています。
- ☆ 全客室内空気清浄機のフィルター清掃を定期的に行い、埃による詰りで電気を過剰に消費しないようにしています。
- ☆ 全客室に7月よりエコカードを設置し余分なシーツ交換を削減しました。(写真②)
- ☆ 2月から立体駐車場の営業時間を1時間短縮しました。



写真②



写真①

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ フロントバックのコピー機に注意文を貼り付けミスや不要なコピーの削減に努めています。

《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ 産業廃棄物(廃食用油)のリサイクルに取り組んでいます。(※廃食用油は、飼料へとリサイクルされています。)
- ☆ 調理方法の工夫により、食材の有効利用を行い、食品廃棄物を削減できるよう工夫しています。
- ☆ 宴会場で発生するごみを分別(生ごみ・以外の可燃物)することにより食品リサイクル量を増加致します。

《節水による総排水量削減について》

- ☆ 一部蛇口をエコハンドルの物に交換しました。

【次年度の取組内容について】

- ☆ 更なるエコ活動の推進のためにスタッフ、お客様への啓発活動の推進。
- ☆ 照明器具のLED化促進等高効率機器への更新促進。
- ☆ 館内全体への情報発信の更なる強化。

以上

6-10号平パークホテル



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1 人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	8.003	8,484	0.481	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	205,340(kg-CO ₂)	207,357(kg-CO ₂)	2,017(kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	329,286(kWh)	351,407(kWh)	22,121(kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	31,096(m ³)	28,050(m ³)	▲3,046(m ³)
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減(食品廃棄物を除く)	135.8	152.9	17.1	排出量((a)-(b))(t)	3,368(t)	3,738(t)	370(t)
				廃棄物発生量(a)(t)	5,008(t)	5,492(t)	484(t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)(t)	1,640(t)	1,754(t)	114(t)
3.食品リサイクル率の向上	目標設定なし	-	-	排出量((c)-(d))(t)	0.783(t)	0.720(t)	▲0.063(t)
				総発生量(c)(t)	0.783(t)	0.720(t)	▲0.063(t)
				リサイクル量(d)(t)	-	-	-
4.節水による総排水量削減	328.830 (ℓ)/人	294.014 (ℓ)/人	▲34.816 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	7,778(m ³)	7,186(m ³)	▲592(m ³)
5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上	4 名	3 名	75%	6.スタッフ、お客様への啓発活動	連泊のお客様を対象にベッドシーツ・枕カバー交換不要の意思表示 ECO カードを全客室に設置(実績 599 室 9 ヶ月)		
7.グリーン購入の実施	LED 電球の使用推進 : 1 階ロビーの照明を交換済み。 文房具 : グリーンマーク対象品を極力購入						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力) ※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。
※ 食品リサイクル率は、朝食のみの提供のため廃棄物が少なく設定していません。

【活動実績及びその評価】

下記取り組みを重点的に活動してきましたが、総排水量削減を除き、目標未達成に終わりました。
今後はこれらの活動を継続しつつ、お客様や従業員に更なる啓発活動を行ない、今期のデータを検証し、来年の活動に繋げていきたいと考えます。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

- ☆お客様が利用されないチェックアウト後の客室において照明・空調を消灯。(節電取組実績 6,325室/12ヶ月間)
- ☆全客室(88室)のエアコンフィルターを、3ヶ月に1度の周期で定期的な清掃を行い、目詰まりによる過剰な電気使用を防いでいます。又、夏場・冬場エアコンの稼働が高くなる時期にはドレンポンプの清掃も行なっています。
- ☆1階ロビー照明をLEDに変更し、省エネルギー化に取り組みました。今後も随時LED照明に変更します。
- ☆2階会議室の1室を利用したマッサージ施術(週6日・夜20時～23時30分)を8階展望浴場前の1室に移転。
(営業スペースを8階にまとめる事で、2階会議室フロアは利用時を除き終日消灯を実施。)

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆シュレッダーゴミ廃棄を古紙回収専門業者に依頼しリサイクルしています。
- ☆プリンターカートリッジのリサイクル回収(100%回収)をしています。

《食品リサイクル率の向上について》

- ☆食事提供は朝食のみなので、食品リサイクルへの取り組みは、食材に無駄が出ないように計画的に発注しております。

《節水による総排水量削減について》

- ☆定期巡回時(共用トイレ、展望浴場など)やチェックアウト後の客室チェック時など無駄な吐水等無いように対応しております。

【次年度の取組内容について】

- ☆節水による総排水量削減として展望浴場や客室のシャワーヘッドを節水タイプに、また節水コマを活用するなど検討。
- ☆更なるエコ活動の推進のためにスタッフ、お客様への啓発活動の推進。
- ☆照明器具のLED化促進等高効率機器への更新促進。
- ☆事務所など個別空調で温度調整が可能なプライベートエリアの温度を夏:28度、冬20度 に設定。
- ☆ゲスト未使用時のレストラン・客室フロア空調・照明オフの啓発及び巡回による実施状態の確認と指導の徹底。

以上

6-11リーガホテルゼスト高松



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1 人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	5.062	5.819	0.757	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	1,128,890(kg-CO ₂)	963,990(kg-CO ₂)	▲164,900(kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	1,918,216(kWh)	1,703,659(kWh)	▲214,557(kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	149,612(m ³)	117,144(m ³)	▲32,468(m ³)
2.分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量削減(食品 廃棄物を除く)	161.0	160.0	▲1	排出量((a)-(b))(t)	16.336(t)	11.256(t)	▲5.080(t)
				廃棄物発生量(a)(t)	21.600(t)	21.893(t)	0.293(t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)(t)	5.264(t)	10.637(t)	5.373(t)
3.食品リサイクル率の向上	60.50%	65.50%	-	排出量((c)-(d))(t)	9.421(t)	12.090(t)	-
				総発生量(c)(t)	25.222(t)	35.012(t)	9.790(t)
				リサイクル量(d)(t)	15.801(t)	22.922(t)	-
4.節水による総排水量削減	116.000 (ℓ)/人	133.418 (ℓ)/人	17.418 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	24,968(m ³)	22,102(m ³)	▲2,866(m ³)
5.エコ検定合格(受検)による 環境意識の向上	4 名	8 名	200%	6.スタッフ、お客様 への啓発活動	電力料金・消費税率アップによる電力コスト上昇の意識づけと節電への啓発活動。		
7.グリーン購入の実施	LED照明: 1フロビー周りの交換完了 文房具: グリーンマーク対象品を極力購入						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力) ※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

※ 食品リサイクル開始は、2012年8月からのため昨年比増減は、ありません。

【活動実績及びその評価】

省エネルギーについては、目標未達も、全体量は削減できており、有益な取組が出来て来たことが窺える。

エコ活動2年目に入り、リサイクル品目も増えたことで廃棄物排出量の削減に成功しました。しかし食品廃棄物に関しては昨年の計測が不徹底のところもあり、リサイクル率は上昇するも総発生量・排出量共に増加するという結果となりました。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

☆ 1Fロビー周り及び2F「時香」の空調機を交換、1FロビーのLED化が完了したことで相まって、電気使用量削減の最大要因となりました。

☆ こまめな食材発注により冷蔵庫の空きスペースを確保、分散して収蔵していた食材を極力集約。電力消費量の大きい旧式大型冷蔵庫の運転を休止することで消費電力を削減しました。

☆ LED照明・感知式照明の設置推進、照明点灯時間の見直し(深夜のロビー・レストラン)実施。

☆ 宴会場照明スイッチに1時間当たりの電力使用料金を掲示し節電を啓発。

☆ 閑散日に販売する宿泊客室フロアを限定し、売り止めフロアは照明・エアコン全停止。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ 段ボール・シュレッダー・コピー用紙・パンフレット類のリサイクルを開始しました。

☆ プリンターカートリッジのリサイクル回収(100%回収)。



《食品リサイクル率の向上について》

☆ 食材に無駄が出ない様、在庫管理を徹底し商品発注をしています。

☆ 廃食用油のリサイクルに取り組んでいます。(※廃食用油は、飼料へとリサイクルされています。)

☆ 宴会場で発生するごみを分別(生ごみ・以外の可燃物)を推進しました。



《節水による総排水量削減について》

☆ 各所への啓発表示を実施しております。

☆ 節水ゴマ・感知式センサー内蔵蛇口・客室節水型シャワーヘッドの導入実施。

【次年度の取組内容について】

☆ 前年度での取り組みによりデマンド契約を月600kwhから560kwhに変更。今期は更なる削減を目標とし、従業員の節電意識を持続させる。

☆ 廃棄物については、発生量、排出量共に増加傾向に有る。リサイクルを推進し、排出量の抑制を図って行きます。

以上

6-12旅館くらしき・倉敷珈琲館



	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	3.210	2.974	▲0.236	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	236,612 (kg-CO ₂)	219,939(kg-CO ₂)	▲16,673(kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	320,778 (kWh)	317,118 (kWh)	▲3,660 (kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	45,589 (m ³)	38,949 (m ³)	▲6,640 (m ³)
2.分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量削減(食品 廃棄物を除く)	目標設定なし (データ収集中)	267.9	-	排出量((a)-(b))(t)	1.379 (t)	2.754 (t)	1.375 (t)
				廃棄物発生量(a) (t)	1.503 (t)	4.136 (t)	2.633 (t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b) (t)	0.124 (t)	1.382 (t)	1.258 (t)
3.食品リサイクル率の向上	目標設定なし (データ収集中)	3.05%	-	排出量((c)-(d))(t)	23.101 (t)	17.269 (t)	▲5.832 (t)
				総発生量(c) (t)	23.533 (t)	17.759 (t)	▲5.774 (t)
				リサイクル量(d) (t)	0.432 (t)	0.490 (t)	0.058 (t)
4.節水による総排水量削減	0.219 (ℓ)/人	0.211 (ℓ)/人	▲0.008 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	17,027 (m ³)	15,582 (m ³)	▲1,445 (m ³)
5.エコ検定合格(受検)による 環境意識の向上	3 名	3 名	100%	6.スタッフ、お客様 への啓発活動	・ステッカー等の掲示により、全従業員及びご協力会社様 への啓発を行う。 廃棄物量の表を作成し、従業員に廃棄物削減の意識を高め るよう、教育した。		
7.グリーン購入の実施	極力購入を控え、購入の場合は詰替え用を購入する。 通常購入備品についてはエコマーク製品の購入に努めました。						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力) ※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。
※食品リサイクルの目標は、リサイクルが廃食用油のみのため設定しておりません。※データ不足のため、分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減目標設定は、2014年度
から実施予定。

1. 旅館くらしき

【活動実績及びその評価】

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

☆チェックアウトからチェックインまでの時間帯などお客様が利用されない時の照明の消灯および空調カットを徹底しました。

☆館内で炭を焚いており、暖房器具の使用を極力抑えております。

☆玄関周辺で打ち水を実施しており、夏場は表面温度が下がりお客様の入りやすい環境づくりを実施しております。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆シュレッダー・コピー用紙等の廃棄を古紙回収業者に依頼しリサイクルしています。

《節水による総排水量削減について》

☆常時掛け流しの「離れ湯」の排水量が非常に多いため、お客様の状況によって臨機応変に対応する様にしました。

2. 倉敷珈琲館

【活動実績及びその評価】

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

☆無駄な電気使用量を削減するため、節電を促す掲示物を照明スイッチ周辺に掲示しました。古民家のためスイッチが多いが、定期的に消灯点検を実施。

☆夏場は換気の実施、冬場はひざ掛けなどを準備し空調温度を適温に保つよう心がけました。

☆夏場に玄関と庭で打ち水を実施。レトロな如雨露で美観地区に水を撒く姿が新聞に取り上げられました。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆従業員全員が廃棄物量を把握することで、廃棄物削減の意識を高めるように指導しました。

☆珈琲のでがらしは消臭効果がある為、館内のトイレと従業員用のトイレに設置し消臭剤などの購入を最低限にしました。

またHPとFacebookなどで「珈琲のでがらしを差し上げます。」という告知をだしました。

《節水による総排水量削減について》

☆お客様用共用トイレ等点検を実施し、無駄なトイレトーパーパの使用及び吐水等無きように対応いたしました。

【次年度の取組内容について】

☆ブランドイメージを守りながら、旅館くらしき、倉敷珈琲館が連携し積極的に活動に取り組む。

☆定期的にミーティングを実施し、スタッフ全員の意識も高める。

☆節水はもちろん、無駄な電気や紙を使用しないように努め、各々の業務の中での無駄を少しでも減らす活動を身近なところから取り組む。

☆今期のデータや経験豊富な他の事業所の良いところを真似していきながら更なるアイディアを生み出していけるよう努める。

以上

6-13あなぶき家庭瀬店

[運用期間 2013年4月～2014年3月]



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1 人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (5 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	1.217	1.402	0.185	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	65,028 (kg-CO ₂)	74,921(kg-CO ₂)	-
				電気使用量(kWh)	86,935 (kWh)	84,959 (kWh)	-
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	5,791 (m ³)	6,492 (m ³)	-
2.分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量削減(食品 廃棄物を除く)	268.7	205.9	▲62.8	排出量((a)-(b))(t)	1.388 (t)	1.08 (t)	-
				廃棄物発生量(a) (t)	2.866 (t)	2.015 (t)	-
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b) (t)	1.478 (t)	0.935 (t)	-
3.食品リサイクル率の向上	目標設定なし (データ収集中)	9.80%	-	排出量((c)-(d))(t)	11.489 (t)	10.000 (t)	-
				総発生量(c) (t)	13.339 (t)	11.085 (t)	-
				リサイクル量(d) (t)	1.850 (t)	1.085 (t)	-
4.節水による総排水量削減	31.040 (ℓ)/人	36.215 (ℓ)/人	5.175 (ℓ)/人	総排水量(m ³)	1,732 (m ³)	1,935 (m ³)	-
5.エコ検定合格(受検)による 環境意識の向上	1 名	1 名	100%	6.スタッフ、お客様 への啓発活動	・スタッフへの定期教育・勉強会の開催 ・厨房内各所の表示による御協力依頼の実施		
7.グリーン購入の実施	LED 電球の使用推進 : 天井照明、駐車場の外灯の照明等LED電球使用 文房具 : グリーンマーク対象品を極力購入						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/ kWh(四国電力) ※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

※ 2012年度データは、5月からのため、昨年比増減はありません。 ※食品リサイクルの目標は、リサイクルが廃食用油のみのため設定しておりません。

【活動実績及びその評価】

概ね良好に運営出来たと判断しています。初年度という事で、目標未達成に終わったが、今期データを基に、設定目標値の検証も実施し、来年の活動につなげて行きます。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

- ☆ 客席照明のLED化、感知式スイッチの採用等省エネルギー化に取り組んでいます。
- ☆ 事務所および休憩室の不在時、消灯・エアコン停止に努めています。
- ☆ 閑散時に・エアコン一部停止に努めています。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ 廃棄物排出抑制を目的に、納品業者様に梱包材(ダンボール等)の回収を依頼していきます。
- ☆ プリンターカートリッジのリサイクル回収(100%回収)をしています。

《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ 食材に無駄が出ない様、在庫管理を徹底し商品発注をしています。
- ☆ 食品廃棄物(廃食用油)のリサイクルに取り組んでいます。
- ☆ 食品廃棄物の水きりや、調理方法の工夫により、食材の有効利用を行い、食品廃棄物を削減できるよう工夫しています。

《節水による総排水量削減について》

- ☆ 各所への啓発表示を実施しております。
- ☆ 洗浄機の使用頻度を削減するよう努めています。

《グリーン購入の実施について》

- ☆ 通常購入備品についてはエコマーク製品の購入に努めました。

【次年度の取組内容について】

- ☆ 更なるエコ活動の推進のためにスタッフ、お客様への啓発活動の推進。
- ☆ 従業員休憩室のプライベートエリアの温度を夏:28度、冬20度 に設定。
- ☆ 非営業時間の空調・照明オフの指導と確認の徹底。

以上

6-14ストアマネジメント課・フーズケア課(11施設)



1.ストアマネジメント課

【活動実績及びその評価】

2012年12月より活動を開始いたしました。ストアマネジメント課では、SA内での店舗運営、クアタラソ内での外販業務等、他施設の一部で業務を行っている事もあり、課としては目標数値の管理を実施しておりません。通販や間借り店舗での営業形態が主であり、スタッフの意識向上を主体的に取り組んでいます。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

- ☆店内照明器具(電球)に関して、一部LEDに変更いたしました。今後も随時LED照明に変更していく予定です。
- ☆空調機の運転(設定温度も含め)、照明の点灯に関して、アイドルタイムの使用は極力控えました。
- ☆空調機のフィルターを定期的に清掃する事により、目詰まり等による過剰な電力使用を抑制いたしました。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆商品購入時にレジ袋(土産用)が個別に必要なかを確認することにより、過剰包装を抑制いたしました。
- ☆商品納品時に回収可能なダンボール等は、業者の方に持ち帰っていただくよう、協力依頼をしています。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

- ☆少人数のスタッフで運営していることもあり、推進している活動に関しては全員で行えていました。

【次年度の取組内容について】

- ☆お客様スペース以外の照明を間引きして、電力の使用量を削減して行きます。
- ☆エコキャップ、プルタブの回収運動への取り組みを実施したいと思います。
- ☆エコ活動全般に関してスタッフから意見や提案を仰ぎ、現場サイドでできる事を随時取り入れて行きたい。

以上

2.フーズケア課

※調理業務請負のため電気・ガス・水道の実数値はありません。

【活動実績及びその評価】

業務請負先の施設を利用しての業務の為、目標管理は実施していませんが、全社で取り組んでいる項目の中で、「食品廃棄物の排出量の削減」について各施設で取り組んでいます。排出量が少ないので食品リサイクル用として排出できていませんが、数値を把握することにより、エコ意識の向上を図って行きたいと思います。新しくできた施設には、開業からエコの意識を持ってもらうことができ、今期データを基に、来年はさらにより結果が残せるよう努めて行きます。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ 現状、施設ごとに行政の回収方法に合わせて実施している為、分別方法が徹底してできておりません。
- ☆ PETボトル、ダンボール等リサイクルしやすいものから、分別していきます。

《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ 調理方法の工夫や、お客様の健康状態に配慮する等、食品廃棄物を削減できるようにしています。
- ☆ 廃棄物の減量化(水切り)を徹底していきます。

【次年度の取組内容について】

- ☆ 更なるエコ活動の推進のためにスタッフへの啓発活動の推進。
- ☆ 一般廃棄物の分別方法の標準化
- ☆ エコ検定合格(受験)による環境意識の向上。

以上



6-15管理本部



	実績値評価 (原単位:利用者人数 1 人あたり)			昨年度との実績値比較			
環境目標項目	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		④2012 年度 (4 月～3 月)	⑤2013 年度 (4 月～3 月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 による CO2 排出量削減	2. 173	0. 214	▲1. 959	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	9,276(kg-CO ₂)	947(kg-CO ₂)	▲8,329(kg-CO ₂)
				電気使用量(kWh)	20,767 (kWh)	－ (kWh)	－ (kWh)
	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	(kg-CO ₂)/人	ガス使用量(m ³)	－ (m ³)	－ (m ³)	－ (m ³)
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減(食品廃棄物を除く)	163. 9	108. 7	▲55. 2	排出量((a)-(b))(t)	0. 655 (t)	0. 482 (t)	▲0. 173 (t)
				廃棄物発生量(a) (t)	1. 060 (t)	0. 779 (t)	▲0. 281 (t)
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b) (t)	0. 405 (t)	0. 297 (t)	▲0. 108 (t)
3.食品リサイクル率の向上	－	－	－	排出量((a)-(b))(t)	－ (t)	－ (t)	－ (t)
				総発生量(t)	－ (t)	－ (t)	－ (t)
				リサイクル量(t)	－ (t)	－ (t)	－ (t)
4.節水による総排水量削減	－(ℓ)/人	－(ℓ)/人	－(ℓ)/人	総排水量(m ³)	－ (m ³)	－ (m ³)	－ (m ³)
5.エコ検定合格(受験)による環境意識の向上	5名	6名	120%	6.スタッフ、お客様への啓発活動	・スタッフへの周知、啓発は朝礼及び各部署でのミーティング時に実施		
7.グリーン購入の実施	文房具：グリーンマーク対象品を極力購入している						

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力)

※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する％表示であり、原単位によるものではありません。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について》

昨年5月から穴吹観光通りビルへ引っ越ししました。このビルは1フロアーにグループ会社各社(7部署:穴吹興産の各部署、あなぶきメディカルケア、あなぶきパートナー他)が共同で使用しておりますので、電気・水道・ガスの個別管理ができない状況となっております。

そのため、昨年度のCO₂排出量との実績比較ができない状況となっております。実際にはフロアー全体としてエアコンの温度設定を変更しないことや、換気による温度調整を行い電気代削減に努めております。

☆社有車運転時のエコドライブについて朝礼時等に啓発を行いました。三豊市や上板(徳島)での新規施設運営が始まったため使用回数・移動距離が増加し、結果的にガソリン使用料は増加となりました。

☆エコ検定の合格者数は目標値に対して120%となりました。(合格率は60%:受験者数10名、合格者数6名)

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆各人の意識向上により排出量の削減を行えた結果、原単位あたりの実績値評価も目標値達成。

紙ごみ(シュレッダー、段ボール等)の回収先はあなぶきパートナーであるため再生率は100%

《グリーン購入の実施について》

☆通常購入の物品についてはエコマーク製品の購入に努めました。

☆古い紙ファイルの再利用等に努めました。

【次年度の取組内容について】

☆エコ検定の合格率は100%を目指す。

☆勤怠管理のシステム導入を行い全社的な紙の使用量削減は行えたが、通信インフラ上未導入の部署もあるため、導入率を上げる。

☆物品購入の際は優先的にエコマーク製品を購入する。

☆個別管理ができる「廃棄物排出量」「コピー用紙」については継続してリデュースに注力。

☆敷地内に植え込みスペースがあるため、グリーンカーテン等の提案を行う。

以上



7.今後のエコ活動計画（全施設共通）



◆ 全 社 環 境 目 標 ◆

環境目標項目			平成 25 年度実績	平成 26 年度目標
目 標 値			基準年度(平成 23 年)比 1.5 % 減	平成25年度比 1.5%減
1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減	CO ₂ 排出量		2.484(kg-CO ₂)/人	2.447(kg-CO ₂)/人
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	一般事業系	発生量	49.121 (g/人)	37.71% (リサイクル率)
		リサイクル量	29.062 (g/人)	
	リサイクル率		37.17 %	
3.食品リサイクル率の向上	食品	発生量	17.520 (g/人)	65.72% (リサイクル率)
		リサイクル量	32.134 (g/人)	
	リサイクル率		64.72 %	
4.節水による総排水量削減	排水量		56.105 (ℓ/人)	55.263 (ℓ/人)
5.グリーン購入の実施	LED 電球の使用		白熱灯電球更新時の LED 使用率 80%以上	
	文房具		全購入品目において、エコマーク製品購入割合 75%以上	
	設備機器・厨房機器等		高効率機器の採用 100%	
6.エコ検定合格（受検）による環境意識の向上	合格者数		平成 25 年度末 124 名	平成 26 年度末 150 名
7.上記項目の全スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示等による啓発活動の実施。 お客様への掲示物等による活動への理解促進・ご協力要請の実施。			

※1.CO₂排出量、3.食品リサイクル率、4.排水量削減、6.エコ検定合格者（延人数）は、平成25年度実績が平成25年度目標値を達成したため、平成26年度目標は平成25年度実績の1.5%減とします。

※食品リサイクル率目標値は中長期目標数値を採用しています。

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO₂)/kWh(四国電力)

■ 全社環境目標の達成に向けて、展開する主要なエコ活動計画の内容は、以下の通りです。
『環境目標の達成に向けて全力を挙げて取り組みます。』

- 『省エネルギー化の推進』に対して、「私たちは、こうします。」
 - ① 適正空調温度の管理(クールビズ・ウォームビズの実施)
 - ② 不要照明・エアコンの適正管理(ON-OFF 管理と確認の徹底)
 - ③ グリーン購入対象機器等の更新促進
- 『廃棄物分別・リサイクル』に対して、「私たちは、こうします。」
 - ① 缶・ビン・ペットボトルの分別・リサイクルの推進
 - ② 紙ゴミの分別・リサイクルの推進
 - ③ ミスコピーの廃絶(印刷前の倍率・サイズ等の再確認)



高松国際ホテル
(ごみの分別に取り組んでいるごみ置き場)

3. 『食品リサイクル』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 食品材料の有効利用により発生抑制をします。
- ② 食品廃棄物の分別を徹底し、再生利用します。
- ③ 食品廃棄物の水切り、乾燥等により減量をします。

4. 『節水』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 適正水量調整(節水こま等利用)による使用水量の削減
- ② 水使用場所での節水の呼び掛け徹底

5. 『グリーン購入の実施』に対して「私たちは、こうします。」

- ① エコマーク製品の購入に努めます。
- ② エコマーク製品以外の品目については、以下の項目を検討し、商品を購入します。
 - (1) 資源を持続可能な方法で採取し、有効利用していること。
 - (2) 再生された素材や再使用された部品を多く利用していること。
 - (3) 資源やエネルギー消費、環境被害を与えるような物質の使用及び放出が削減されていること。

6. 『エコ検定合格(受検)』、『私たちは、こうします。』

全スタッフのエコ意識を高めるため、計画的に受検を奨励し、環境問題への意識向上を図ると共にエコピープルを増やします。

7. 『環境配慮啓発活動』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 全スタッフへの周知徹底(ミーティング、掲示等の有効利用)
- ② 定期的な実績報告による取組意識の維持向上



ホテル事業部
(エコミーティングの様子)



8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無



当社の活動に係る環境関連法規制等の遵守には日頃から注意を払っており、各施設において、適正に管理されており、違反、訴訟等は有りません。下記に概要をご報告致します。

環境関連法規制等	対応状況
1.食品リサイクル法	毎年6月に定期報告済み。適正に管理・記録しています。
2.廃棄物処理法	3R活動の推進により、廃棄物排出量の抑制に努めており、産業廃棄物の排出においても適正に管理されています。
3.自動車・家電・小型家電リサイクル法	対象商品の廃棄時は適正に手続きをしています。
4.下水道法	排水グリストラップの日常清掃等により、より、環境負荷の少ない排水を放流しています。
5.省エネ法	常日頃、節電に努めると共に、省エネ機器への更新等実施しています。定期の届出も適正に実施しています。
6.容器包装リサイクル法	お客さまのご協力を得ながら、容器包装の発生抑制に努めています。また、定期の使用量報告、費用負担も適正に実施しています。
7.大気汚染防止法	対象機器保有施設において、煤塵発生量測定等適正に実施しています。
8.その他の法規制等	各施設において適正に管理・記録しています。





9. 代表者による全体評価と見直しについて



①環境方針の見直しについて

『2009年度版 EA21食品事業者向けガイドライン』に対応した新規の環境方針を、平成24年5月1日より採用する。

②マネジメントレビュー

平成25年度エコアクション21運用状況報告会(平成26年4月30日)を受けての指示事項

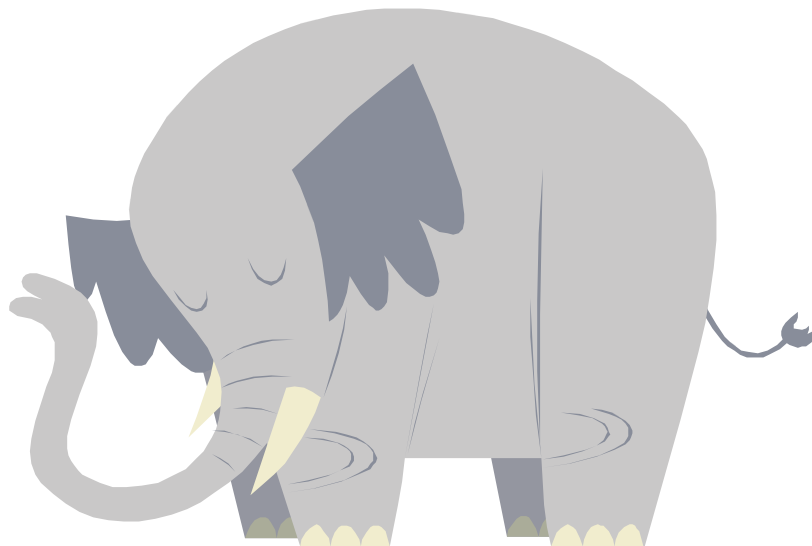
I. 全社の運用状況について

- 1.概ね良好な結果が出ているが、目標未達が散見される。
P D C Aを回し、改善をする事。
2. 活動事例の水平展開を実施し、より効果的な運用を図る事。
3. エコ検定の資格取得を推進し、全員参加のE A 21 を目指す事。

II. 地域社会との連携に配慮し、E A 21 の活動を進めて行くこと。

平成 25 年度のエコ活動レポートは以上です。

当社は、今後とも全社を挙げて、環境に配慮した活動に取り組み、継続的に改善してまいる決意です。そして、この活動を自社のみにとどめるのではなく、広くお客様、地域社会の皆様のご理解・ご協力を得て、『持続可能な社会の実現』に向けて、貢献させていただけるように努めます。地球環境の悪化がこれ以上進まないように憂慮され、常に問題意識をお持ちになる皆様と共に、次の世代に、よりよい地球環境を引き継げるよう、日々の活動を継続してまいります。



発行日:平成 26 年 6 月 11 日

※ 今後随時、エコ活動レポートは当社の公式ホームページでも公開いたします。下記 URL にてご覧ください。
<http://www.anabuki-enter.jp/>

